

いわき明星大学
「学修行動調査 2018」調査報告書

教務委員会

目次

平成30 年度 学修行動調査報告	1
学修行動調査【全学部】集約資料分析	3
大学における学習状況について（全学部）	
設問2（1）	7
設問2（2）	10
設問2（3）	13
設問2（3） バブルグラフ	16
設問2（4）	17
学修行動調査結果に対する考察：教養学部の特徴	21
大学における学習状況について（教養学部）	
設問2（1）	22
設問2（2）	25
設問2（3）	28
設問2（3） バブルグラフ	31
設問2（4）	32
「学修行動調査」薬学部（2016 年度との比較）	37
大学における学習状況について（薬学部）	
設問2（1）	39
設問2（2）	42
設問2（3）	45
設問2（3） バブルグラフ	48
設問2（4）	49
「学修行動調査2018」 看護学部の考察	53
大学における学習状況について（看護学部）	
設問2（1）	55
設問2（2）	58
設問2（3）	61
設問2（3） バブルグラフ	64
設問2（4）	65
【付録】	

大学に入学する前や高校時代のことについて（1年生のみ：全学部）	70
大学に入学する前や高校時代のことについて（1年生のみ：教養学部）	73
大学に入学する前や高校時代のことについて（1年生のみ：薬学部）	76
大学に入学する前や高校時代のことについて（1年生のみ：看護学部）	79
大学の学びに関する満足度について（全学部）	82
英語の学習状況について（全学部）	86

令和1年6月10日

平成30年度学修行動調査報告

教務委員会
委員長 菊池雄士

本学アセスメント・ポリシーに基づく学生調査の一環として、下記のように平成30年度学修行動調査を実施した。なお、本学では「学生調査の実施に関する方針」の中で、学修行動調査を次のように位置づけている。

学修行動調査

学生の主体的な学修時間を実質的に増加させ、学びの成果につなげること、学びの成果を実質化することを目的とし、学生の学びの実態を把握する。なお新入生調査および上級生調査により、「生涯学び続け、主体的に考える力」を意味する主体的な学修態度が醸成されるよう、現状の分析と推移を検証し、学士課程教育の改善をはかるための基礎資料とする。

【調査の概要】

調査対象：教養学部1・3・4年生、薬学部1・4・6年生、看護学部1年生

調査項目：1. 大学に入学する前や高校時代のことについて（1年生のみ）

2. 大学における学修状況について

3. 大学の学びに関する満足度について

4. 英語の学修状況について

回答方法：manab@IMUを利用

実施期間：平成30年7月16日～平成30年10月31日

回答率：42.7%

得られた結果を「学士課程教育の改善」に役立てていくには多面的・継続的な解析作業が必要である。教務委員会では、4つの調査項目のうち、「2. 大学における就学状況」（授業での学修経験、授業内外における学修行動、正課内外の活動に費やす時間、入学後の知識・能力の変化についての質問）に対する回答に注目し、調査結果を学部ごとに解析することにより、各学部生の特色や学部ごとの問題の所在を明らかにする試みを行った。その結果を以下に掲載する。考察は、学部独自の課題の抽出から学部間の比較に基づく他学部への提言に及んでいる。毎年、定期的に行われる本調査が本学の学生指導をより効果的なものにするために役に立つことを願うものである。

【医療創生大学 いわき明星大学学習行動調査 2018】

全学部集約資料分析

(80%以上の調査数値について推察・対策意見表記した)

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
2-(1) 授業における経験や機会	A	体験的学習の有無	68%		32%		
	B	仕事に役立つ学修	83%	学修内容が将来の職業に役に立つと考える学生が増加	17%		
	C	授業内容の解説	82%	教員の説明が社会や日常生活に関連づけられている。	18%		
	D	授業に関するボランティア	13%		87%	教室外で行われる受講者対象ボランティア活動は運営や支援体制整備確立が難しいためと推察される。	広い意味で学外学修の一環にとらえ、インターンシップ等を積極的に推し進め、学内外から実践的手法や社会貢献を学ぶ機会を設定していく必要がある。
	E	学生の調査活動	78%		22%		
	F	小テスト・レポートの有無	93%	定期的な小テスト・レポートは定期的に行われている。	7%		
	G	教員の添削・コメント	82%	概ね教員が提出物に添削やコメントをつけて返却している。	18%		
	H	学生の発表の場	82%	学生が自分の考えや研究を発表する場の設定がよくなされている。	18%		
	I	学生相互のディスカッション	83%	授業中における学生相互の意見交換の場が十分設定されている。	17%		
	J	学生によるテーマ設定	52%		48%		
	K	学生の意見を生かす	46%		54%		
	L	希望する履修登録	77%		23%		
	M	授業の出席重視姿勢	87%	受講出席は、学修のベースとなるもので当然の姿勢と思われる。	13%		
	N	SA・TAの補助	41%		59%		

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
2-(2) 授業以外の学習への取り組み	A	授業課題と図書館活用	62%		38%		
	B	課題へのインターネット上の情報活用	93%	タブレット配付等が活用率の高揚に功を奏しているものと推察される。	7%		
	C	ネットによる課題受信報告提出	91%	タブレット及びソフマナバ等の活用が学内広く普及してきたものと推察される。	9%		
	D	課題提出期限遵守	79%		21%		
	E	授業時間外学生間の連携	74%		26%		
	F	教員へ異議意見発表	20%		80%	授業中、教員の考え方や意見に意義や意見発表する姿勢に乏しい。	受動的授業から能動的授業へ展開されるよう、自ら考え、自ら判断し、表現する学生の資質を高める必要がある。
	G	授業への出席	68%		32%		
	H	授業への遅刻なし	80%	遅刻経験のない学生の割合が前年度より増加している	20%		
	I	授業への興味関心	50%		50%		
	J	授業中の居眠り			68%		
	K	教員研究へ参加	10%		90%	教員研究へのプロジェクト参加は4年生以上ゼミ等が主のため他学年学生の参加は少ないと思われる。	教員が取り組む研究活動について、機会あるごとに紹介し、学生の興味関心を高め、プロジェクトへの積極的な参加を促す。
	L	単位外勉強会への参加	23%		77%		
	M	教職員への就職相談	22%		78%		
	N	教員への親近感	60%		40%		

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
2-(3) 入学以来1週間あたりの費やした時間	A	授業や実験への参加	88%	授業には概ね積極的に参加していることが伺われる。	5%	(1時間未満の欠席)	
	B	授業時間以外の勉強	85%	授業時間外に勉強や宿題に取り組む学生が多い。	15%		
	C	時間外教員への質問	61%		39%		
	D	部活動・同好会参加	55%		45%		
	E	アルバイト等体験	54%		46%		
	F	漫画等除く読書	60%		40%		
	G	個人的趣味活動	71%		7%		
	H	ボランティア活動参加	12%		78%		
	I	SNS等の利用	75%		25%		
	J	平日の予習復習を行う時間帯	96%	平日予習・復習の多い時間帯は放課後、帰宅後夕方・夜が多い。	4%		
	K	休日の予習復習時間帯	93%	休日の予習復習多い時間帯は夜間が多い。	7%		

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
2-(4) 入学時点と比較し能力・知識の変化	A	一般的な教養	76%		5%		
	B	分析力・問題解決能力	76%		2%		
	C	専門分野や学科知識	89%	肯定的回答が高く、高等教育授業の一定成果が見られる。	4%		
	D	批判的に考える能力	69%		2%		
	E	異文化に関する知識	35%		1%		
	F	リーダーシップの能力	43%		1%		
	G	人間関係構築する能力	68%		1%		
	H	他者との協働能力	75%		1%		
	I	異文化人との協力能力	30%		4%		肯定的、否定的評価が共に低い数値は、異文化に触れる機会が少ない本学の実態から推察される。
	J	地域社会問題の理解	41%		4%		
	K	国民が抱える問題理解	41%		1%		
	L	文章表現の能力	58%		1%		
	M	外国語の運用能力	29%		10%		国際化に向け、英語の運用能力を高めるための仕掛けが必要と思われる。
	N	コミュニケーション能力	61%		1%		
	O	プレゼン能力	67%		2%		
	P	数理的な能力	51%		9%		
	Q	コンピュータ操作能力	73%		1%		
	R	時間有効活用能力	67%		4%		
	S	グローバル問題理解	29%		5%		全学教育等にグローバルな事象や問題に触れる更なる機会の構築や教科の設置等が望まれる。
	T	就職準備の程度	29%		1%		自己実現を図るために、キャリア教育等により、自己の就職準備に早めに取り組む資質育成を図ることが大切と思われる。

2. 大学における学習状況について（全学部）

（1）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

1. ひんぱんにあった	41	16.80%
2. ときどきあった	124	50.82%
3. あまりなかった	60	24.59%
4. まったくなかった	19	7.79%
合計	244	100.00%

B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ

1. ひんぱんにあった	63	26.03%
2. ときどきあった	138	57.02%
3. あまりなかった	36	14.88%
4. まったくなかった	5	2.07%
合計	242	100.00%

C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する

1. ひんぱんにあった	61	24.90%
2. ときどきあった	140	57.14%
3. あまりなかった	39	15.92%
4. まったくなかった	5	2.04%
合計	245	100.00%

D. 授業の一環でボランティア活動をする

1. ひんぱんにあった	8	3.28%
2. ときどきあった	24	9.84%
3. あまりなかった	71	29.10%
4. まったくなかった	141	57.79%
合計	244	100.00%

E. 学生自身が文献や資料を調べる

1. ひんぱんにあった	78	31.84%
2. ときどきあった	112	45.71%
3. あまりなかった	48	19.59%
4. まったくなかった	7	2.86%
合計	245	100.00%

F. 定期的に小テストやレポートが課される

1. ひんぱんにあった	145	59.18%
2. ときどきあった	83	33.88%
3. あまりなかった	14	5.71%
4. まったくなかった	3	1.22%
合計	245	100.00%

G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

1. ひんばんにあった	83	34.02%
2. ときどきあった	117	47.95%
3. あまりなかった	35	14.34%
4. まったくなかった	9	3.69%
合計	244	100.00%

H. 学生が自分の考えや研究を発表する

1. ひんばんにあった	79	32.64%
2. ときどきあった	119	49.17%
3. あまりなかった	41	16.94%
4. まったくなかった	3	1.24%
合計	242	100.00%

I. 授業中に学生同士が議論をする

1. ひんばんにあった	87	35.66%
2. ときどきあった	115	47.13%
3. あまりなかった	33	13.52%
4. まったくなかった	9	3.69%
合計	244	100.00%

J. 授業で検討するテーマを学生が設定する

1. ひんばんにあった	37	15.23%
2. ときどきあった	89	36.63%
3. あまりなかった	83	34.16%
4. まったくなかった	34	13.99%
合計	243	100.00%

K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

1. ひんばんにあった	23	9.43%
2. ときどきあった	88	36.07%
3. あまりなかった	114	46.72%
4. まったくなかった	19	7.79%
合計	244	100.00%

L. 取りたい授業を履修登録できなかった

1. ひんばんにあった	10	4.08%
2. ときどきあった	46	18.78%
3. あまりなかった	63	25.71%
4. まったくなかった	126	51.43%
合計	245	100.00%

M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



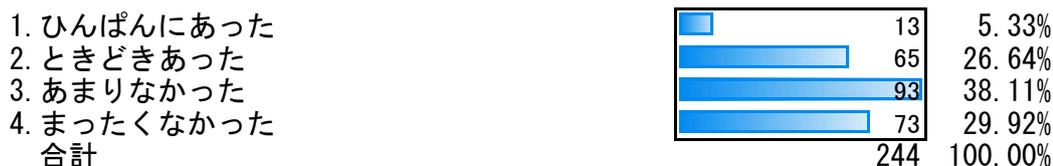
E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



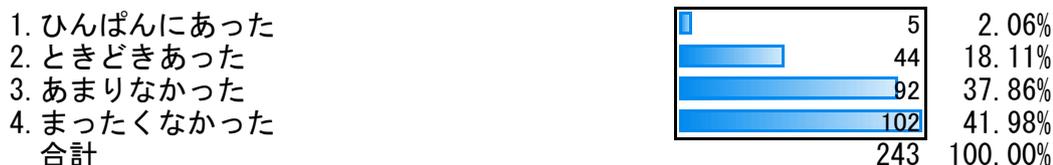
F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



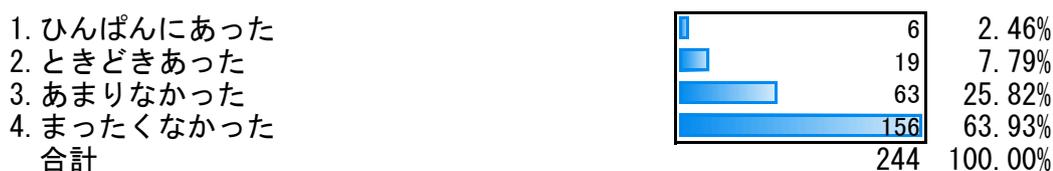
I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

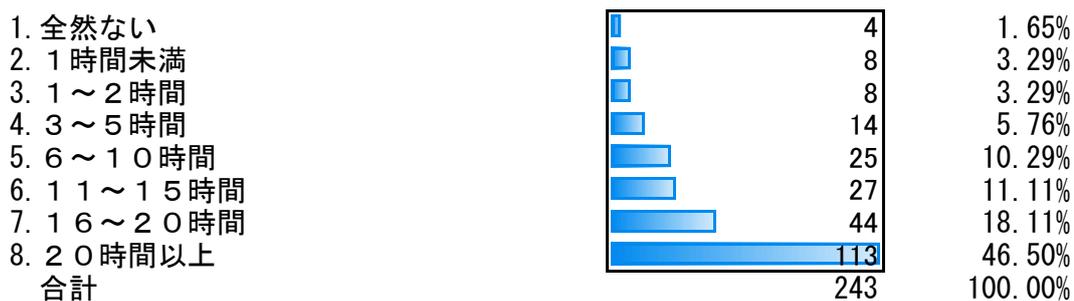


N. 教員に親近感を感じた

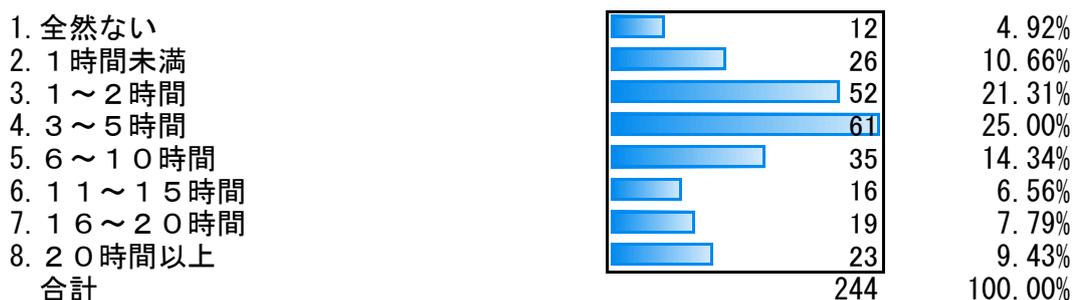


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

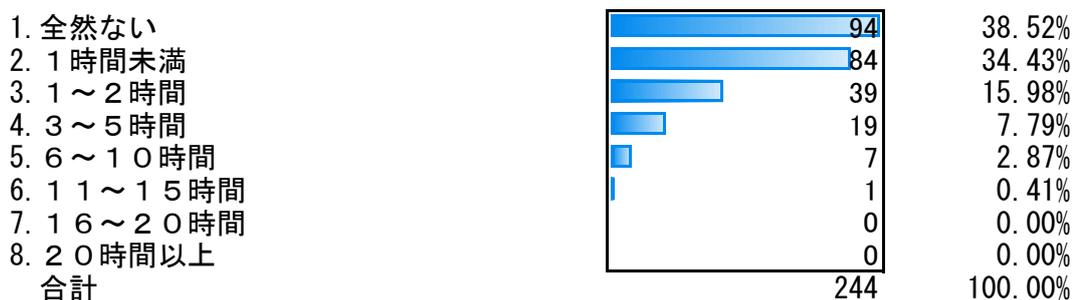
A. 授業や実験に出る



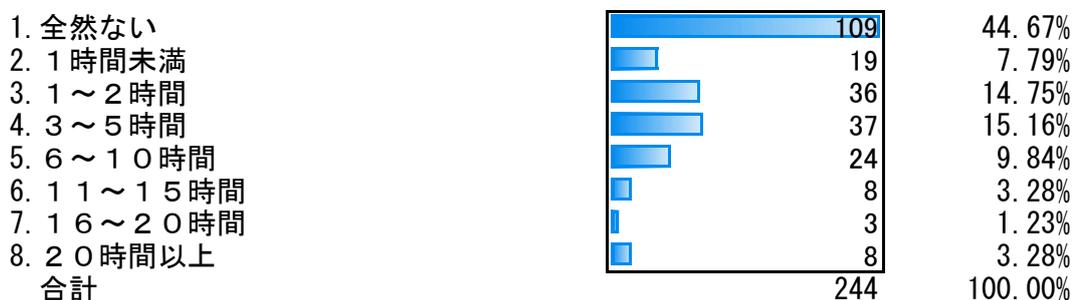
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



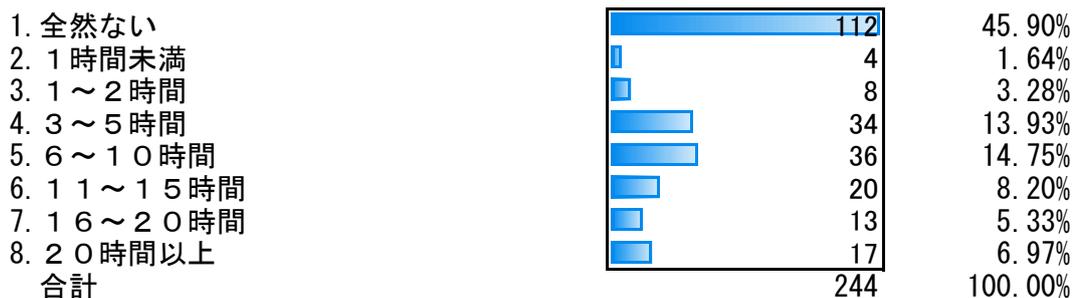
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



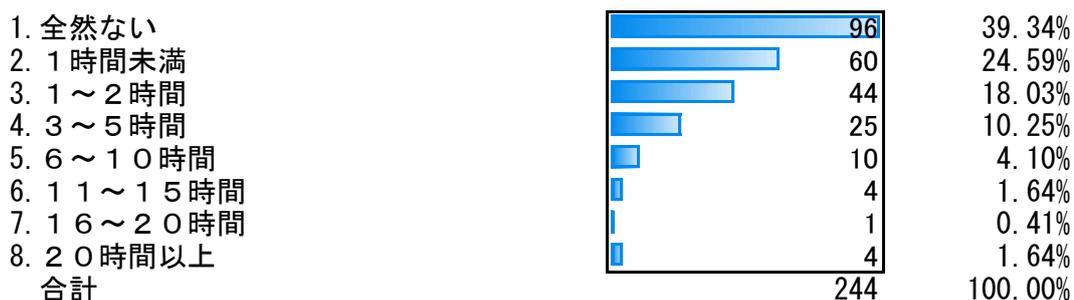
D. 部活動や同好会に参加する



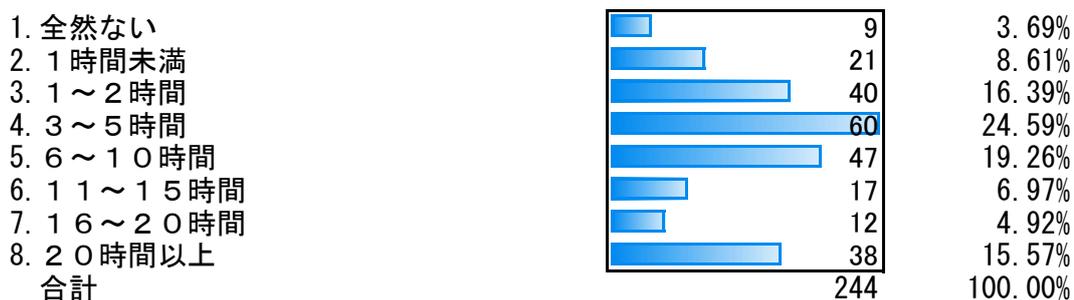
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



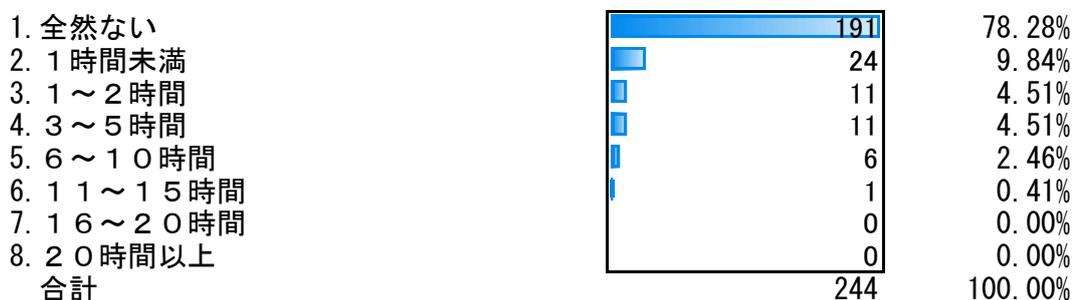
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



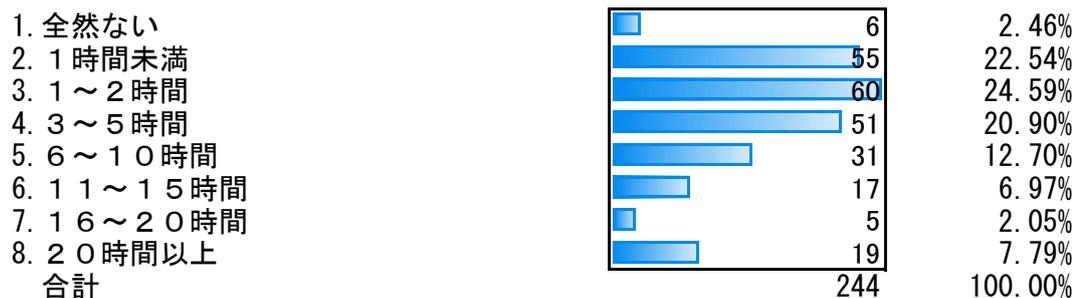
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

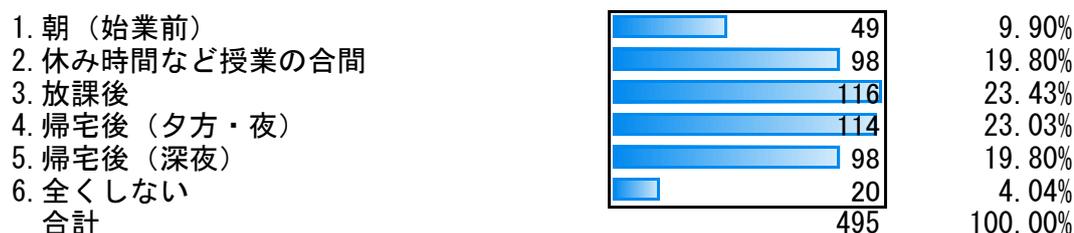


I. メール、Facebook、LINE等の利用



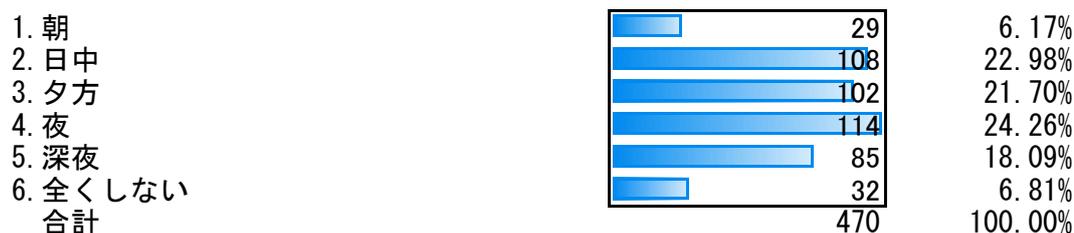
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

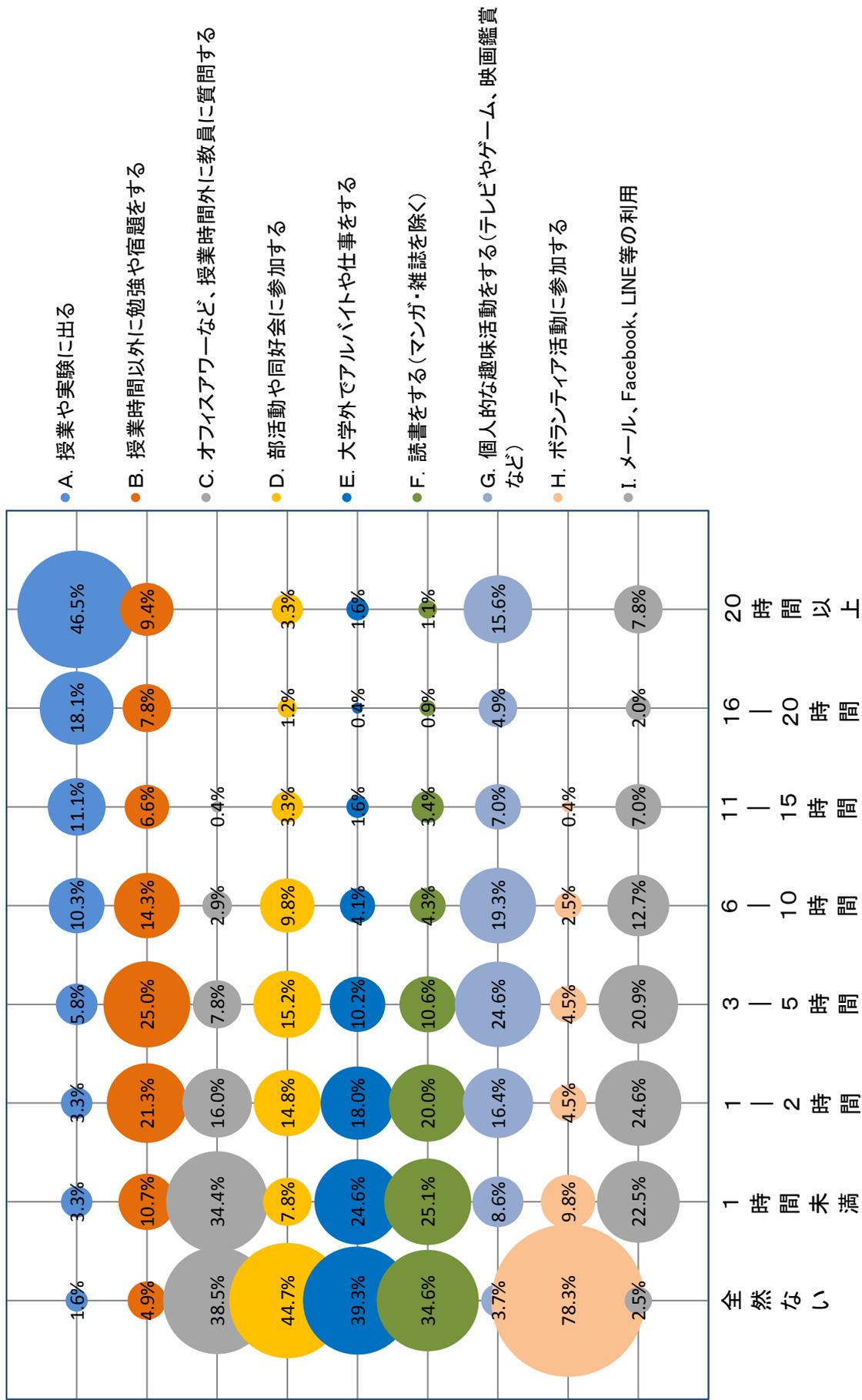


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



H30（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力

1. 大きく増えた	9	10.84%
2. 増えた	27	32.53%
3. 変化なし	46	55.42%
4. 減った	1	1.20%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	83	100.00%

G. 人間関係を構築する能力

1. 大きく増えた	14	16.67%
2. 増えた	43	51.19%
3. 変化なし	26	30.95%
4. 減った	1	1.19%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

1. 大きく増えた	17	20.24%
2. 増えた	46	54.76%
3. 変化なし	20	23.81%
4. 減った	1	1.19%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

I. 異文化の人々と協力する能力

1. 大きく増えた	5	5.95%
2. 増えた	20	23.81%
3. 変化なし	56	66.67%
4. 減った	2	2.38%
5. 大きく減った	1	1.19%
合計	84	100.00%

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	4	4.82%
2. 増えた	30	36.14%
3. 変化なし	46	55.42%
4. 減った	3	3.61%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	83	100.00%

K. 国民が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	4	4.82%
2. 増えた	30	36.14%
3. 変化なし	48	57.83%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	1	1.20%
合計	83	100.00%

L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた	17	20.24%
2. 増えた	39	46.43%
3. 変化なし	25	29.76%
4. 減った	2	2.38%
5. 大きく減った	1	1.19%
合計	84	100.00%

S. グローバルな問題の理解

1. 大きく増えた	1	1.19%
2. 増えた	23	27.38%
3. 変化なし	56	66.67%
4. 減った	4	4.76%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

T. 卒業後に就職するための準備の程度

1. 大きく増えた	4	4.76%
2. 増えた	20	23.81%
3. 変化なし	59	70.24%
4. 減った	1	1.19%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

2018年度 学修行動調査結果に対する考察：教養学部の特徴

教養学部 大原貴弘

1. 大学における学習状況について

- ・ 前回の調査と比べて、実験・実習・フィールドワークなどの体験的な学びをしていると回答する学生の比率が増加傾向にあった。
- ・ 他学部と比べ、大学の教職員に将来のキャリアの相談をした経験のある学生が多かった。
- ・ 前回の調査と比べて、授業に遅刻することが時々あったと回答する学生が増加しており、他学部と比べても授業を欠席・遅刻する学生が多かった。

⇒ 各メジャー、サブメジャーにおいて多様な体験型の授業が行われていることを学生も実感しているようである。また、他学部に比べて卒業後の進路の自由度も高いため、教職員に相談する機会は比較的多いようである。その一方で、欠席・遅刻も増加傾向が認められており、体験型の授業を負担に感じている学生も潜在している可能性がある。

2. 1週間あたりの活動時間について

- ・ 授業や実験に出る時間が、他学部に比べて少なかった。また、授業時間以外の勉強・宿題の時間も他学部に比べて少なかったが、前回の調査と比べると1～2時間から3～5時間へと増加傾向にあった。
- ・ 大学外でアルバイトや仕事をする時間が過度に多い学生（11～15、16～20時間）が前回の調査と比べて減少していた。

⇒ 他学部に比べると学習時間が少ない傾向も見受けられるが、前回に比べると改善方向に進んでいるようである。なお、学部内では資格取得を目的とした勉強会などが部分的に行われており、将来の目標設定などによって勉強時間の個人差があるのかもしれない。

3. 入学した時点と比べて変化した能力・知識について

- ・ 前回の調査と比べて増加傾向にあったのは、批判的に考える能力や、国民が直面する問題を理解する能力、時間を有効に利用する能力などであった。
- ・ 前回の調査と比べて減少傾向にあったのは、他の人と協力して物事を遂行する能力、地域社会が直面する問題を理解する能力、数理的な能力などであった。

⇒ フレッシュャーズセミナーや基礎ゼミ、キャリアデザインでのPBL型授業などの教育効果が現れている部分も認められるものの、その一方で、教員数減少に伴う教育内容の変更などの影響が現れている可能性も示された。教育目標に対応した内容の検討が必要かもしれない。

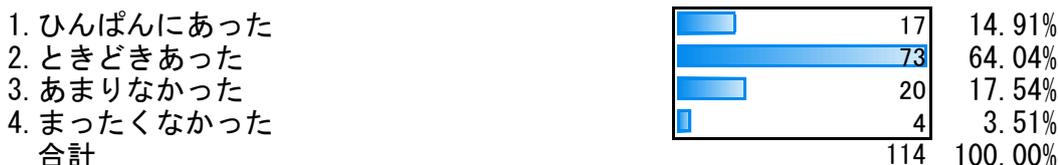
2. 大学における学習状況について（教養学部）

（1）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



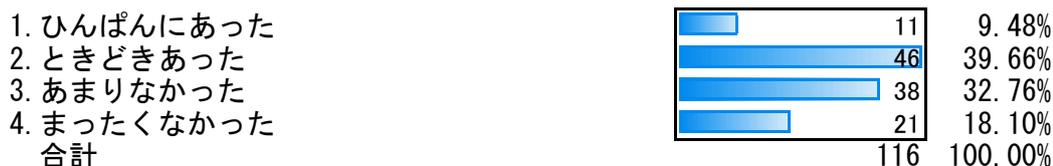
E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

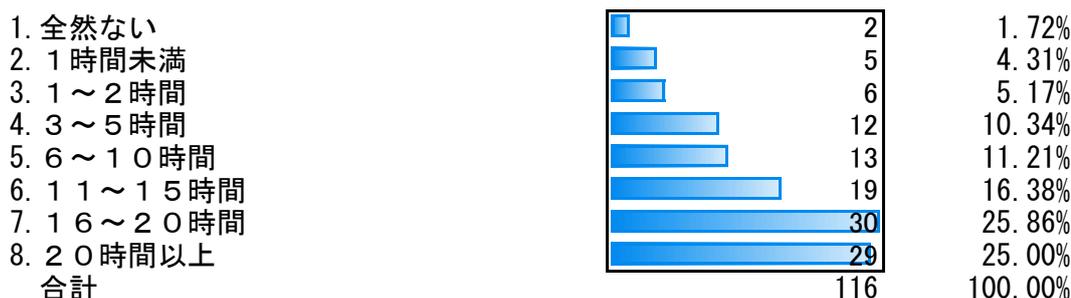


N. 教員に親近感を感じた

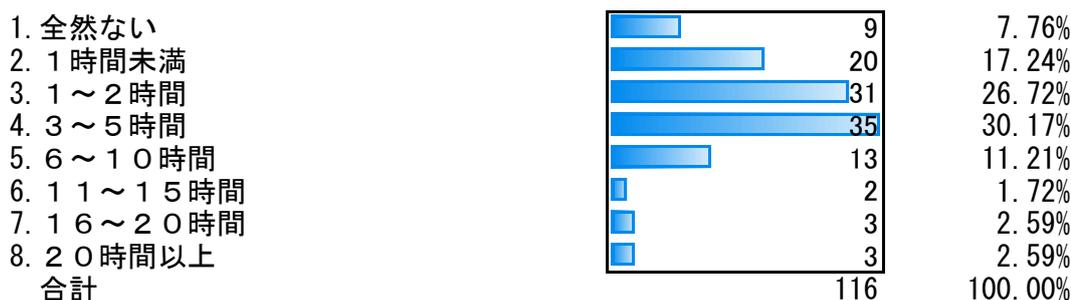


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

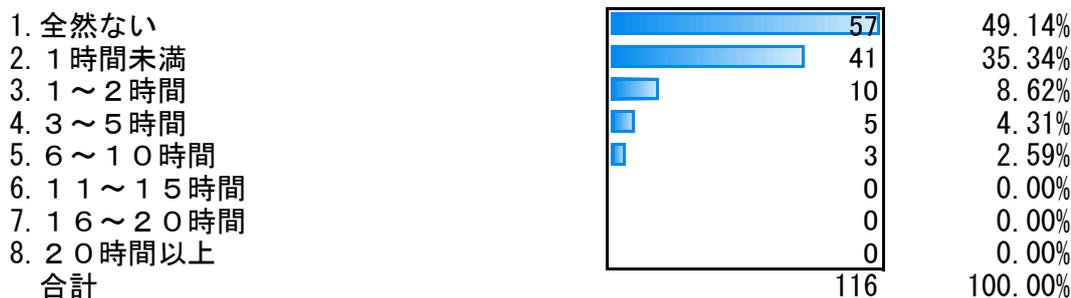
A. 授業や実験に出る



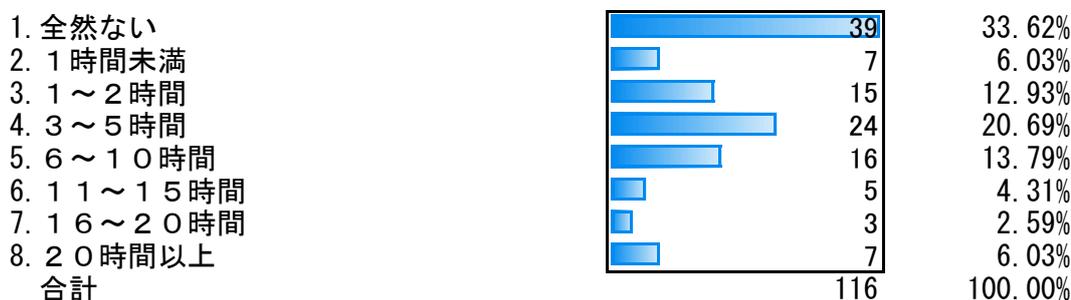
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



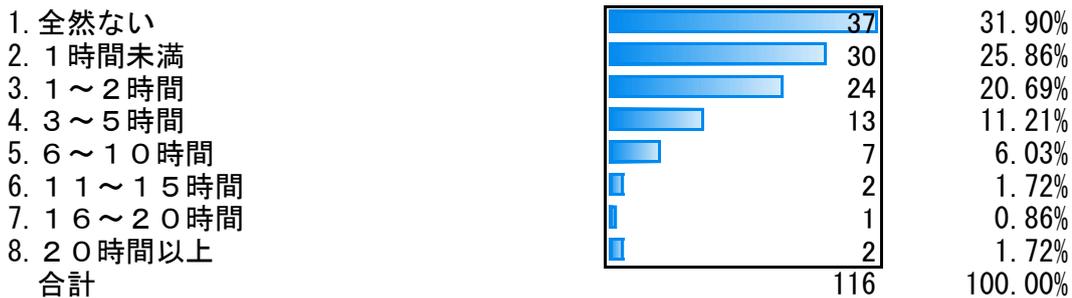
D. 部活動や同好会に参加する



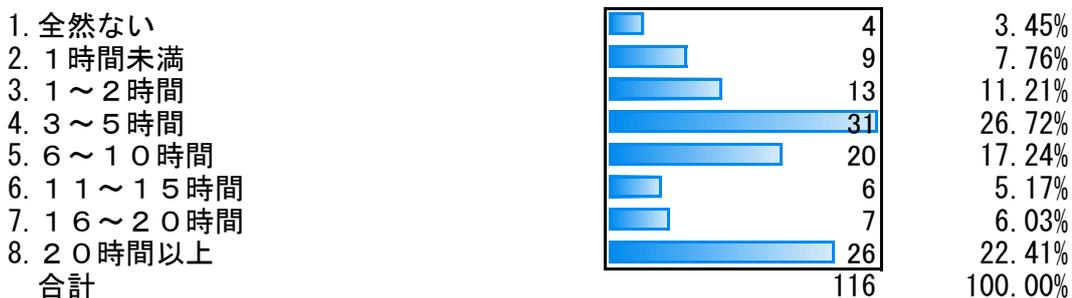
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



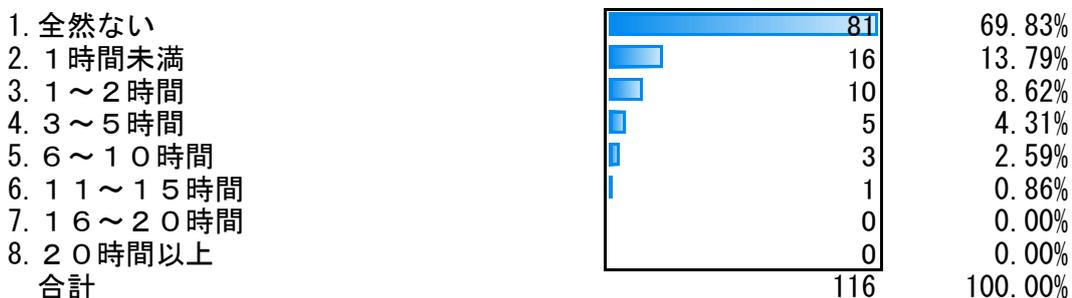
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



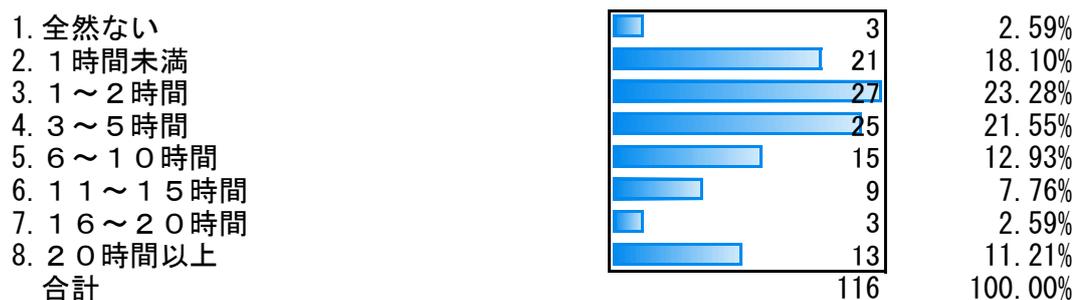
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する



I. メール、Facebook、LINE等の利用



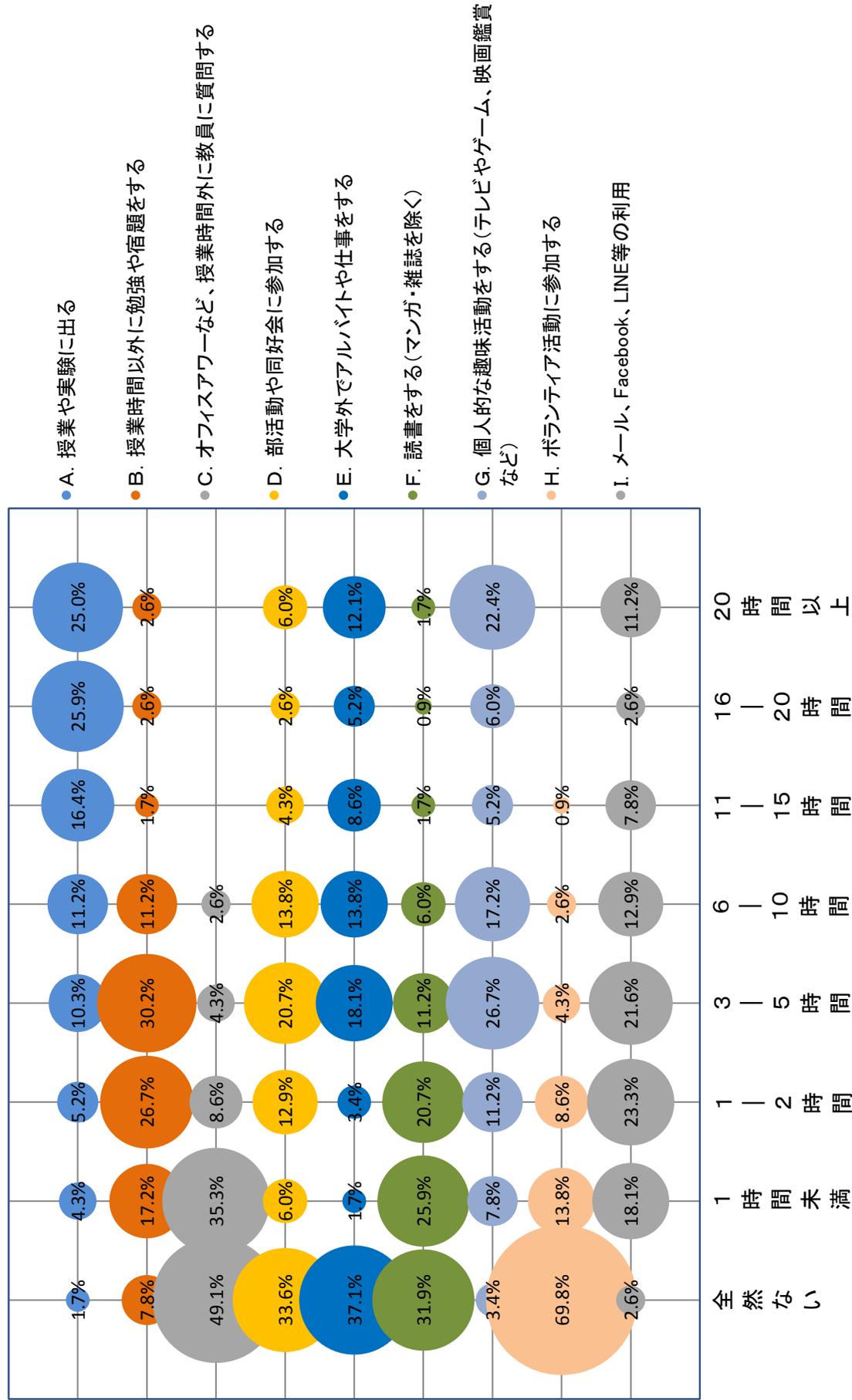
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯
（あてはまるものをすべて選んでください。）



K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯
（あてはまるものをすべて選んでください。）



H30 (3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力

1. 大きく増えた	10	8.70%
2. 増えた	38	33.04%
3. 変化なし	62	53.91%
4. 減った	5	4.35%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	115	100.00%

G. 人間関係を構築する能力

1. 大きく増えた	18	15.52%
2. 増えた	49	42.24%
3. 変化なし	39	33.62%
4. 減った	6	5.17%
5. 大きく減った	4	3.45%
合計	116	100.00%

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

1. 大きく増えた	18	15.52%
2. 増えた	45	38.79%
3. 変化なし	47	40.52%
4. 減った	4	3.45%
5. 大きく減った	2	1.72%
合計	116	100.00%

I. 異文化の人々と協力する能力

1. 大きく増えた	8	6.90%
2. 増えた	27	23.28%
3. 変化なし	79	68.10%
4. 減った	2	1.72%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	116	100.00%

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	8	6.90%
2. 増えた	46	39.66%
3. 変化なし	59	50.86%
4. 減った	1	0.86%
5. 大きく減った	2	1.72%
合計	116	100.00%

K. 国民が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	3	2.59%
2. 増えた	40	34.48%
3. 変化なし	66	56.90%
4. 減った	6	5.17%
5. 大きく減った	1	0.86%
合計	116	100.00%

L. 文章表現の能力

1. 大きく増えた	13	11.21%
2. 増えた	50	43.10%
3. 変化なし	45	38.79%
4. 減った	5	4.31%
5. 大きく減った	3	2.59%
合計	116	100.00%

M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	8	6.90%
2. 増えた	30	25.86%
3. 変化なし	63	54.31%
4. 減った	10	8.62%
5. 大きく減った	5	4.31%
合計	116	100.00%

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	14	12.07%
2. 増えた	52	44.83%
3. 変化なし	40	34.48%
4. 減った	6	5.17%
5. 大きく減った	4	3.45%
合計	116	100.00%

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	14	12.07%
2. 増えた	58	50.00%
3. 変化なし	41	35.34%
4. 減った	1	0.86%
5. 大きく減った	2	1.72%
合計	116	100.00%

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	3	2.59%
2. 増えた	34	29.31%
3. 変化なし	65	56.03%
4. 減った	11	9.48%
5. 大きく減った	3	2.59%
合計	116	100.00%

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	28	24.14%
2. 増えた	61	52.59%
3. 変化なし	24	20.69%
4. 減った	2	1.72%
5. 大きく減った	1	0.86%
合計	116	100.00%

R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



薬学部の 2016 年度の調査結果（表：青色）との比較をした。その結果、大きな変化は見られなかった。さらに、2018 年度の全学平均（表：緑色）との比較をした。結果が異なる場合は、改善（黄色の裏色）と後退（小豆色の裏色）で区別した。

（2）大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

B, C

インターネットの活用は、全学平均とは変わらないが、2 年前よりは向上している。

E

授業時間外に他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話す割合は、薬学部の学生は、2 年前とは大きく変わらないが、全学平均よりはかなり高い。

G, H, I, J

授業を欠席したり、遅刻する割合は、2 年前の結果や全学平均よりも、2018 年度薬学部の結果は激減しており、素晴らしい。教科書を読んだり、何を言っているのかわからない様な「つまらない授業」の割合は、常に 60 パーセント程度とあまり変化がないので、これは学生の努力の成果かもしれない、

（3）入学以来、あなたは次の活動に 1 週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

A

毎週、20 時間以上授業や実習に出る学生の割合が 2 年前よりは大きく向上し、全学平均よりも高い。

B

授業時間以外の学習時間も、2 年前よりは向上しており、全学平均とは大きな差がある。

C

授業時間以外に、教員に全く質問しない学生は 2 年前より半減し、全学平均とは大きな差がある。

D

同好会や部活に全く参加しない学生が、2 年前より増加し、全学平均より明らかに低い。

E

大学外でアルバイトや仕事をしない学生の数は、2 年前よりは減っていて、全学平均よりも明らかに少ない。

F

薬学部の学生は、読書時間が全学平均より低い。

H

ボランティア活動は全体的に低調だが、薬学部学生は特に消極的である。

(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

全体的に、大きな差は見られない。かなり漠然とした質問事項であり、学部間や年度毎のぶれが少ないと思われる。

2. 大学における学

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

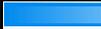
A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

	薬学部 2018年度		薬学部 2016年度 (%)		全学 2018年度 (%)	
1. ひんぱんにあった		20	24.10%	27	17	
2. ときどきあった		44	53.01%	49	51	
3. あまりなかった		14	16.87%	18	25	
4. まったくなかった		5	6.02%	5	8	
合計		83	100.00%			

B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ

1. ひんぱんにあった		30	36.14%	29	26
2. ときどきあった		41	49.40%	47	57
3. あまりなかった		11	13.25%	19	15
4. まったくなかった		1	1.20%	4	2
合計		83	100.00%		

C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する

1. ひんぱんにあった		20	23.81%	22	25
2. ときどきあった		47	55.95%	52	57
3. あまりなかった		14	16.67%	23	16
4. まったくなかった		3	3.57%	5	2
合計		84	100.00%		

D. 授業の一環でボランティア活動をする

1. ひんぱんにあった		2	2.38%	1	3
2. ときどきあった		8	9.52%	11	10
3. あまりなかった		28	33.33%	23	29
4. まったくなかった		46	54.76%	65	58
合計		84	100.00%		

E. 学生自身が文献や資料を調べる

1. ひんぱんにあった		27	32.14%	32	32
2. ときどきあった		35	41.67%	50	46
3. あまりなかった		16	19.05%	16	20
4. まったくなかった		6	7.14%	3	3
合計		84	100.00%		

F. 定期的に小テストやレポートが課される

1. ひんぱんにあった		59	70.24%	43	59
2. ときどきあった		17	20.24%	47	34
3. あまりなかった		8	9.52%	8	6
4. まったくなかった		0	0.00%	2	1
合計		84	100.00%		

G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

	薬学部 2018年度		薬学部 2016年度 (%)		全学 2018年度 (%)	
	1. ひんばんにあった	35	42.17%	17	34	
2. ときどきあった	34	40.96%	42	48		
3. あまりなかった	8	9.64%	30	14		
4. まったくなかった	6	7.23%	11	4		
合計	83	100.00%				

H. 学生が自分の考えや研究を発表する

1. ひんばんにあった	28	33.73%	30	33
2. ときどきあった	38	45.78%	53	49
3. あまりなかった	14	16.87%	13	17
4. まったくなかった	3	3.61%	5	1
合計	83	100.00%		

I. 授業中に学生同士が議論をする

1. ひんばんにあった	32	38.10%	33	36
2. ときどきあった	41	48.81%	51	47
3. あまりなかった	7	8.33%	15	14
4. まったくなかった	4	4.76%	5	4
合計	84	100.00%		

J. 授業で検討す

1. ひんばんにあった	6	7.23%	7	15
2. ときどきあった	33	39.76%	50	37
3. あまりなかった	28	33.73%	26	34
4. まったくなかった	16	19.28%	17	14
合計	83	100.00%		

K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

1. ひんばんにあった	8	9.52%	5	9
2. ときどきあった	28	33.33%	49	36
3. あまりなかった	39	46.43%	30	47
4. まったくなかった	9	10.71%	16	8
合計	84	100.00%		

L. 取りたい授業を履修登録できなかった

1. ひんばんにあった	0	0.00%	3	4
2. ときどきあった	15	17.86%	20	19
3. あまりなかった	23	27.38%	29	26
4. まったくなかった	46	54.76%	50	51
合計	84	100.00%		

M. 出席することが重視される

	薬学部 2018年度	
1. ひんばんにあった	35	41.67%
2. ときどきあった	37	44.05%
3. あまりなかった	10	11.90%
4. まったくなかった	2	2.38%
合計	84	100.00%

	薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	47	38
	38	49
	10	11
	5	2

N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける

1. ひんばんにあった	15	17.86%
2. ときどきあった	36	42.86%
3. あまりなかった	18	21.43%
4. まったくなかった	15	17.86%
合計	84	100.00%

	8	8
	38	33
	34	31
	20	28

(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した

	薬学部 2018年		薬学部 2016年度 (%)		全学 2018年度 (%)	
	1. ひんぱんにあった	 12	14.29%	21	23	
2. ときどきあった	 28	33.33%	46	39		
3. あまりなかった	 29	34.52%	22	27		
4. まったくなかった	 15	17.86%	11	11		
合計	84	100.00%				

B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した

1. ひんぱんにあった	 56	66.67%	48	60
2. ときどきあった	 22	26.19%	42	34
3. あまりなかった	 5	5.95%	7	5
4. まったくなかった	 1	1.19%	3	1
合計	84	100.00%		

C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした

1. ひんぱんにあった	 50	59.52%	47	61
2. ときどきあった	 23	27.38%	35	30
3. あまりなかった	 7	8.33%	10	6
4. まったくなかった	 4	4.76%	7	3
合計	84	100.00%		

D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった

1. ひんぱんにあった	 1	1.19%	3	3
2. ときどきあった	 14	16.67%	18	18
3. あまりなかった	 23	27.38%	35	31
4. まったくなかった	 46	54.76%	43	48
合計	84	100.00%		

E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした

1. ひんぱんにあった	 37	44.05%	39	27
2. ときどきあった	 29	34.52%	45	46
3. あまりなかった	 12	14.29%	9	17
4. まったくなかった	 6	7.14%	7	9
合計	84	100.00%		

F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた

1. ひんぱんにあった	 1	1.20%	3	4
2. ときどきあった	 11	13.25%	18	16
3. あまりなかった	 41	49.40%	35	45
4. まったくなかった	 30	36.14%	43	35
合計	83	100.00%		

G. 授業を欠席した

	薬学部 2018年	
1. ひんぱんにあった	0	0.00%
2. ときどきあった	13	15.48%
3. あまりなかった	39	46.43%
4. まったくなかった	32	38.10%
合計	84	100.00%

	薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	3	5
	26	27
	40	38
	31	30

H. 授業に遅刻した

1. ひんぱんにあった	1	1.19%
2. ときどきあった	5	5.95%
3. あまりなかった	27	32.14%
4. まったくなかった	51	60.71%
合計	84	100.00%

	7	2
	20	18
	29	38
	43	42

I. 授業をつまらなく感じた

1. ひんぱんにあった	12	14.29%
2. ときどきあった	41	48.81%
3. あまりなかった	25	29.76%
4. まったくなかった	6	7.14%
合計	84	100.00%

	18	16
	47	50
	26	29
	9	5

J. 授業中に居眠りをした

1. ひんぱんにあった	11	13.25%
2. ときどきあった	30	36.14%
3. あまりなかった	31	37.35%
4. まったくなかった	11	13.25%
合計	83	100.00%

	14	10
	39	40
	32	32
	16	19

K. 教員の研究プロジェクトに参加した

1. ひんぱんにあった	1	1.19%
2. ときどきあった	4	4.76%
3. あまりなかった	16	19.05%
4. まったくなかった	63	75.00%
合計	84	100.00%

	2	2
	8	8
	22	26
	69	64

L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した

1. ひんぱんにあった	2	2.38%
2. ときどきあった	22	26.19%
3. あまりなかった	22	26.19%
4. まったくなかった	38	45.24%
合計	84	100.00%

	3	7
	16	17
	29	26
	51	50

M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

	薬学部 2018年	
1. ひんぱんにあった	3	3.57%
2. ときどきあった	8	9.52%
3. あまりなかった	23	27.38%
4. まったくなかった	50	59.52%
合計	84	100.00%

	薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	3	4
	18	19
	24	34
	55	43

N. 教員に親近感を感じた

1. ひんぱんにあった	18	21.43%
2. ときどきあった	42	50.00%
3. あまりなかった	16	19.05%
4. まったくなかった	8	9.52%
合計	84	100.00%

	11	15
	49	44
	26	28
	14	12

(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

A. 授業や実験に出る

	薬学部 2018年		薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	1. 全然ない	1	1.20%	2
2. 1時間未満	1	1.20%	1	3
3. 1～2時間	1	1.20%	2	3
4. 3～5時間	0	0.00%	4	6
5. 6～10時間	7	8.43%	16	10
6. 11～15時間	4	4.82%	3	11
7. 16～20時間	6	7.23%	10	18
8. 20時間以上	63	75.90%	62	47
合計	83	100.00%		

B. 授業時間以外に勉強や宿題をする

1. 全然ない	1	1.19%	3	5
2. 1時間未満	2	2.38%	5	11
3. 1～2時間	6	7.14%	12	21
4. 3～5時間	15	17.86%	22	25
5. 6～10時間	17	20.24%	20	14
6. 11～15時間	10	11.90%	8	7
7. 16～20時間	14	16.67%	14	8
8. 20時間以上	19	22.62%	16	9
合計	84	100.00%		

C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する

1. 全然ない	15	17.86%	33	39
2. 1時間未満	29	34.52%	32	34
3. 1～2時間	23	27.38%	21	16
4. 3～5時間	13	15.48%	8	8
5. 6～10時間	3	3.57%	3	3
6. 11～15時間	1	1.19%	0	0
7. 16～20時間	0	0.00%	0	0
8. 20時間以上	0	0.00%	2	0
合計	84	100.00%		

D. 部活動や同好会に参加する

1. 全然ない	49	58.33%	50	45
2. 1時間未満	9	10.71%	9	8
3. 1～2時間	13	15.48%	16	15
4. 3～5時間	7	8.33%	14	15
5. 6～10時間	5	5.95%	7	10
6. 11～15時間	1	1.19%	1	3
7. 16～20時間	0	0.00%	1	1
8. 20時間以上	0	0.00%	2	3
合計	84	100.00%		

E. 大学外でアルバイトや仕事をする

	薬学部 2018年	
1. 全然ない	50	59.52%
2. 1時間未満	2	2.38%
3. 1～2時間	4	4.76%
4. 3～5時間	7	8.33%
5. 6～10時間	11	13.10%
6. 11～15時間	4	4.76%
7. 16～20時間	5	5.95%
8. 20時間以上	1	1.19%
合計	84	100.00%

	薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	68	46
	2	2
	2	3
	7	13
	12	15
	4	8
	2	5
	3	7

F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）

1. 全然ない	41	48.81%
2. 1時間未満	21	25.00%
3. 1～2時間	9	10.71%
4. 3～5時間	6	7.14%
5. 6～10時間	3	3.57%
6. 11～15時間	2	2.38%
7. 16～20時間	0	0.00%
8. 20時間以上	2	2.38%
合計	84	100.00%

	45	39
	22	25
	15	18
	8	10
	5	4
	5	1
	1	0
	1	2

G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

1. 全然ない	4	4.76%
2. 1時間未満	6	7.14%
3. 1～2時間	17	20.24%
4. 3～5時間	20	23.81%
5. 6～10時間	20	23.81%
6. 11～15時間	7	8.33%
7. 16～20時間	3	3.57%
8. 20時間以上	7	8.33%
合計	84	100.00%

	9	4
	4	9
	22	16
	34	25
	15	19
	9	7
	1	5
	7	16

H. ボランティア活動に参加する

1. 全然ない	76	90.48%
2. 1時間未満	1	1.19%
3. 1～2時間	1	1.19%
4. 3～5時間	4	4.76%
5. 6～10時間	2	2.38%
6. 11～15時間	0	0.00%
7. 16～20時間	0	0.00%
8. 20時間以上	0	0.00%
合計	84	100.00%

	93	78
	1	10
	1	5
	3	5
	0	3
	0	0
	2	0
	0	0

I. メール、Facebook、LINE等の利用

	薬学部 2018年		薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
1. 全然ない		3 3.57%	8	3
2. 1時間未満		25 29.76%	20	23
3. 1～2時間		23 27.38%	26	25
4. 3～5時間		17 20.24%	27	21
5. 6～10時間		8 9.52%	11	13
6. 11～15時間		5 5.95%	2	7
7. 16～20時間		1 1.19%	2	2
8. 20時間以上		2 2.38%	4	8
合計		84 100.00%		

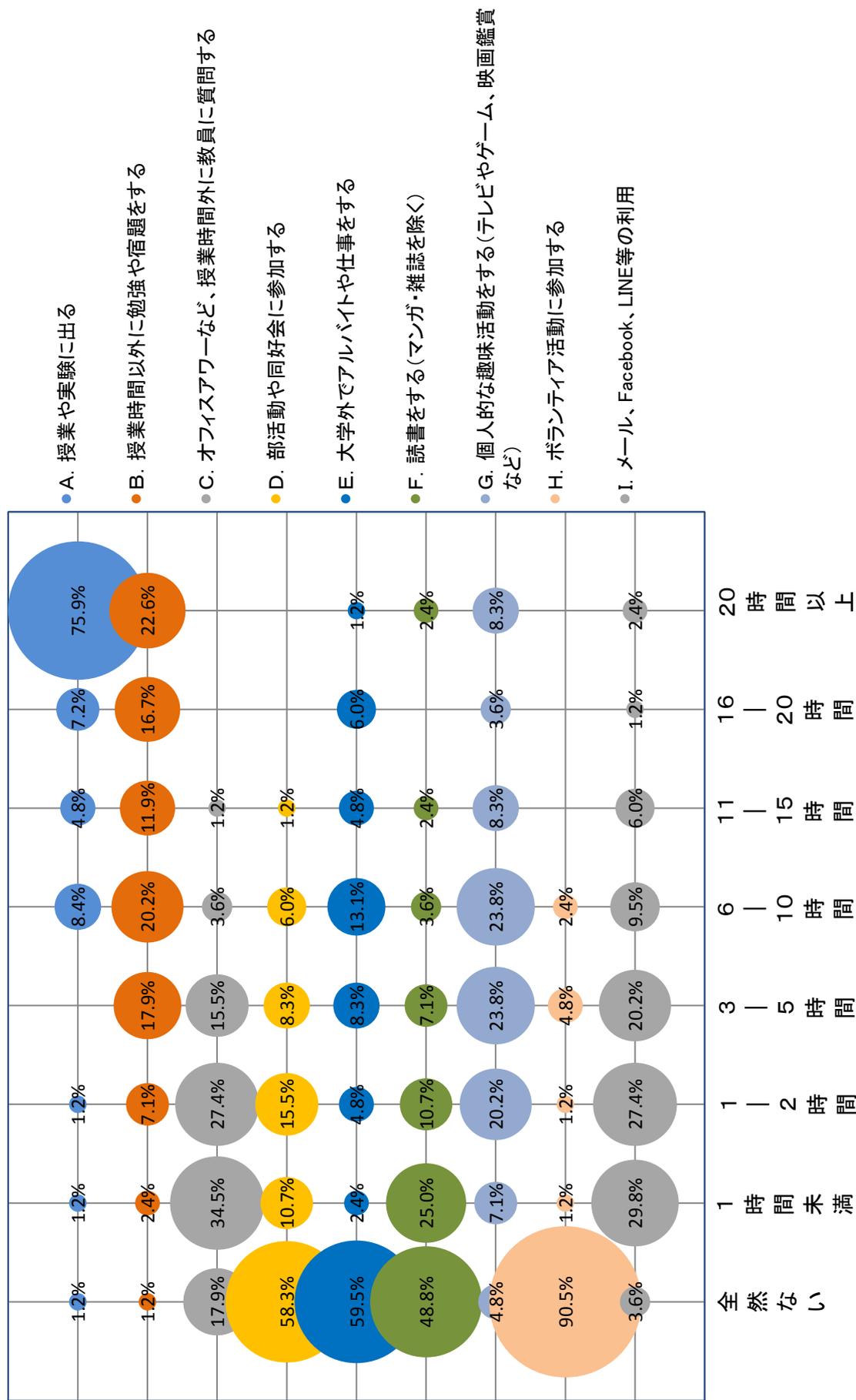
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯
（あてはまるものをすべて選んでください。）

1. 朝（始業前）		26 13.98%	12	10
2. 休み時間など授		27 14.52%	11	20
3. 放課後		62 33.33%	29	23
4. 帰宅後（夕方・		38 20.43%	26	23
5. 帰宅後（深夜）		29 15.59%	21	20
6. 全くしない		4 2.15%	2	4
合計		186 100.00%		

K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯
（あてはまるものをすべて選んでください。）

1. 朝		17 8.72%	8	6
2. 日中		52 26.67%	22	23
3. 夕方		49 25.13%	26	22
4. 夜		46 23.59%	27	24
5. 深夜		25 12.82%	15	18
6. 全くしない		6 3.08%	3	7
合計		195 100.00%		

H30 (3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養

	薬学部 2018年度		薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	1. 大きく増えた	13	15.48%	18
2. 増えた	51	60.71%	61	63
3. 変化なし	16	19.05%	16	20
4. 減った	4	4.76%	5	5
5. 大きく減った	0	0.00%	1	0
合計	84	100.00%		

B. 分析力や問題解決能力

1. 大きく増えた	13	15.48%	16	11
2. 増えた	51	60.71%	59	59
3. 変化なし	18	21.43%	21	28
4. 減った	1	1.19%	3	2
5. 大きく減った	1	1.19%	1	1
合計	84	100.00%		

C. 専門分野や学科の知識

1. 大きく増えた	29	34.52%	31	25
2. 増えた	46	54.76%	56	57
3. 変化なし	6	7.14%	8	17
4. 減った	3	3.57%	4	2
5. 大きく減った	0	0.00%	1	0
合計	84	100.00%		

D. 批判的に考える能力

1. 大きく増えた	9	10.71%	9	12
2. 増えた	49	58.33%	51	48
3. 変化なし	24	28.57%	33	38
4. 減った	1	1.19%	6	1
5. 大きく減った	1	1.19%	1	1
合計	84	100.00%		

E. 異文化の人々に関する知識

1. 大きく増えた	6	7.23%	5	8
2. 増えた	23	27.71%	28	39
3. 変化なし	53	63.86%	60	51
4. 減った	1	1.20%	2	2
5. 大きく減った	0	0.00%	5	0
合計	83	100.00%		

F. リーダーシップの能力

	薬学部 2018年度		薬学部 2016年度 (%)		全学 2018年度 (%)	
	1. 大きく増えた	9	10.84%	8	10	
2. 増えた	27	32.53%	37	32		
3. 変化なし	46	55.42%	47	56		
4. 減った	1	1.20%	5	3		
5. 大きく減った	0	0.00%	3	0		
合計	83	100.00%				

G. 人間関係を構築する能力

1. 大きく増えた	14	16.67%	12	15
2. 増えた	43	51.19%	48	47
3. 変化なし	26	30.95%	32	33
4. 減った	1	1.19%	5	3
5. 大きく減った	0	0.00%	3	2
合計	84	100.00%		

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

1. 大きく増えた	17	20.24%	17	17
2. 増えた	46	54.76%	55	48
3. 変化なし	20	23.81%	22	32
4. 減った	1	1.19%	5	3
5. 大きく減った	0	0.00%	1	1
合計	84	100.00%		

I. 異文化の人々と協力する能力

1. 大きく増えた	5	5.95%	5	7
2. 増えた	20	23.81%	17	23
3. 変化なし	56	66.67%	68	66
4. 減った	2	2.38%	7	3
5. 大きく減った	1	1.19%	3	1
合計	84	100.00%		

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	4	4.82%	2	6
2. 増えた	30	36.14%	31	29
3. 変化なし	46	55.42%	58	52
4. 減った	3	3.61%	8	2
5. 大きく減った	0	0.00%	2	1
合計	83	100.00%		

K. 国民が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	4	4.82%	3	4
2. 増えた	30	36.14%	29	34
3. 変化なし	48	57.83%	64	57
4. 減った	0	0.00%	3	3
5. 大きく減った	1	1.20%	1	1
合計	83	100.00%		

L. 文章表現の能力

	薬学部 2018年度	
1. 大きく増えた	7	8.33%
2. 増えた	42	50.00%
3. 変化なし	34	40.48%
4. 減った	1	1.19%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

	薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	6	10
	48	48
	41	38
	2	3
	3	1

M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	3	3.57%
2. 増えた	21	25.00%
3. 変化なし	52	61.90%
4. 減った	8	9.52%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

	11	5
	51	26
	30	58
	5	9
	2	2

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	13	15.48%
2. 増えた	38	45.24%
3. 変化なし	32	38.10%
4. 減った	1	1.19%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

	11	15
	51	44
	30	36
	5	3
	2	2

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	15	18.29%
2. 増えた	40	48.78%
3. 変化なし	25	30.49%
4. 減った	2	2.44%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	82	100.00%

	9	15
	56	50
	30	32
	4	1
	1	1

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	9	10.71%
2. 増えた	34	40.48%
3. 変化なし	37	44.05%
4. 減った	3	3.57%
5. 大きく減った	1	1.19%
合計	84	100.00%

	8	5
	48	31
	38	56
	4	6
	2	2

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	19	22.62%
2. 増えた	42	50.00%
3. 変化なし	22	26.19%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	1	1.19%
合計	84	100.00%

	10	22
	54	52
	31	23
	3	2
	3	1

R. 時間を有効に利用する能力

	薬学部 2018年度	
1. 大きく増えた	17	20.24%
2. 増えた	39	46.43%
3. 変化なし	25	29.76%
4. 減った	2	2.38%
5. 大きく減った	1	1.19%
合計	84	100.00%

	薬学部 2016年度 (%)	全学 2018年度 (%)
	9	17
	54	41
	31	37
	5	3
	1	2

S. グローバルな問題の理解

1. 大きく増えた	1	1.19%
2. 増えた	23	27.38%
3. 変化なし	56	66.67%
4. 減った	4	4.76%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

	4	5
	25	28
	64	64
	3	3
	5	1

T. 卒業後に就職するための準備の程度

1. 大きく増えた	4	4.76%
2. 増えた	20	23.81%
3. 変化なし	59	70.24%
4. 減った	1	1.19%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	84	100.00%

	5	8
	43	34
	48	56
	1	1
	3	1

「学習行動調査」における看護学部の回答率について、2017年度は約86%であったが2018年度は約55%と低い回答率であった。そのため、看護学部における「学習行動調査 2018」が看護学部全体としての回答と言えないところはあるが、2017年度と比較しながら考察する。

2. 大学における学習状況について

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

全14項目について、2017年度と比較して大きな変化はなく、概ね授業で経験する機会はあったようだ。

A：実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

2017年度は「ときどき・ひんぱんにあった」が約48%で半数であったのに対して、2018年度は80%と大きく変化した。これは、2018年度入学学生が1年次に行った看護実践基盤実習（基礎1）の日程に影響していると考えられる。2017年度は同実習を2018年1月に実施したが、2018年度は8月に実施しており、「学習行動調査」の時期と同時期であったことから、設問Aが変化したものと推察する。

D：授業の一環でボランティア活動をする

2017年度は「あまり・まったくなかった」が約90%を占めていた。2018年度も同様に「あまり・まったくなかった」が約90%を占めていた。2017年度の考察と同様に、授業の一環でボランティア活動をすることの適・不適や可能・不可能については、授業や科目の内容によるところが大きいため、この結果から考察することは難しいが、ボランティア活動を全学共通教育科目に取り入れることの検討余地は十分にあると考えられる。

N：SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける

2017年度は「あまり・まったくなかった」が約80%を占めていた。2018年度も同様に約80%を占めていた。看護学部は大学院生が在籍していないとはいえ、薬学部では約60%の学生が「ときどき・ひんぱんにあった」と回答していることから、看護学部でも上級生を授業の補助に活用することを検討していく必要があると考えられる。

(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか

2017年度同様に相対的に割合が高い項目は、B・Cのインターネットを利用した機会、「ときどき・ひんぱんにあった」がどちらも約95%と高かった。看護学部はテキストにiPadを利用しており、普段の授業からインターネットを学習の方法として取り入れて活用していると思われる。一方で、図書離れが懸念されたが、A：授業課題のために図書館の資料を利用したのでは、「ときどき・ひんぱんにあった」が2017年度では約55%であったのが、2018年度は約73%と大きく上昇した。インターネットの情報と図書館の図書をうまく活用しながら、学習を進めていると考える。

また、I：授業をつまらなく感じた J：授業中に居眠りをしたでは、2018年度は授業をつまらなく感じたで、「ときどき・ひんぱんにあった」学生は約70%で、2017年度よりも10%少なくなった。しかし、居眠りをしたでは、「ときどき・ひんぱんにあった」学生は約55%で、2017年度の約40%を上回っていた。この結果より、授業がつまらなく感じ居眠りをしてしまう学生が増えたことは、授業の展開について教員個々が検討しなければならない課題であると考ええる。

(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか

2017年度と比較して、殆ど変化はみられなかった。しかし、K：休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯では、夜～深夜にかけてが、2017年度・2018年度ともに約50%であった。大学外アルバイトの時間帯は調査されていないが、時間数としては3～15時間が2017年度・2018年度ともに約50%であったため、休日の昼間にアルバイトをしているのではないかと推察する。体調管理の観点で、週末の夜～深夜にかけては次週の学習に向けて休養の時間としてほしいが、約半数の学生は、週末（休日）の昼間ではなく、休日の夜～深夜が学習の時間帯となっていると考える。3学年次には通年にわたり実習を展開するため、平日と休日の学習時間と休養時間のバランスを考えながら自己の体調管理を行えるように指導していく必要性が伺えた。

(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか

全20項目において2017年度と比較して大きな変化はなかった。入学した時点と比べて、A・B・C・N・Oの一般的な教養や問題解決能力、専門分野の知識、コミュニケーションの能力、プレゼンテーションの能力など、大学ならではの能力や知識で「増えた～大きく増えた」と、約70%～90%の学生が高い割合で変化したと考えられている。逆に、入学した時点と比べて「減った～大きく減った」に該当した項目は、C・D・N・O・Tの5項目を除く16項目であったが、いずれも2～4%と極わずかな割合であった。今後は「変化なし」と回答した学生が、能力や知識で「増えた～大きく増えた」と増加するように、機会を増やせるような関りが必要であると考ええる。

2. 大学における学習状況について（看護学部）

（1）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



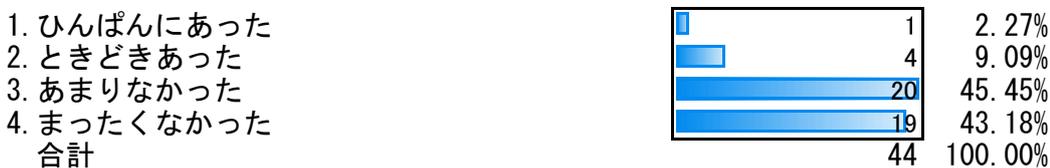
B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

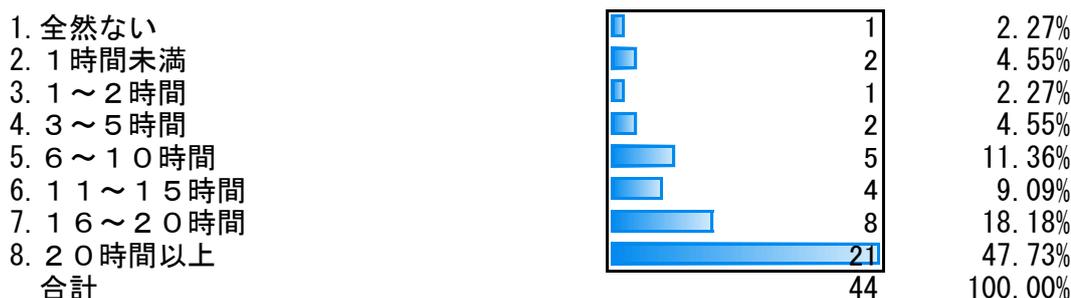


N. 教員に親近感を感じた

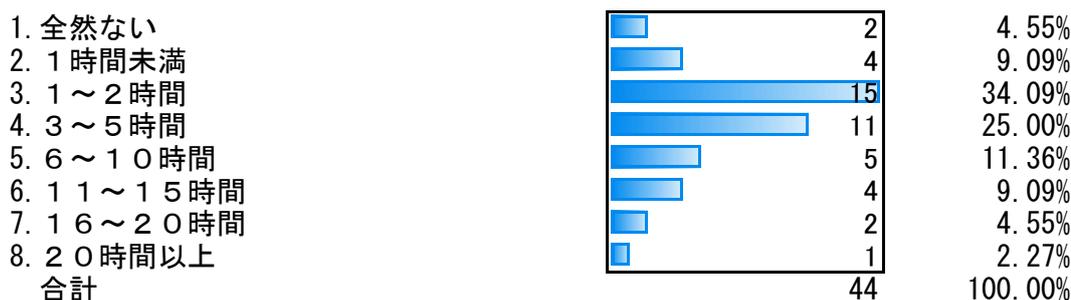


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

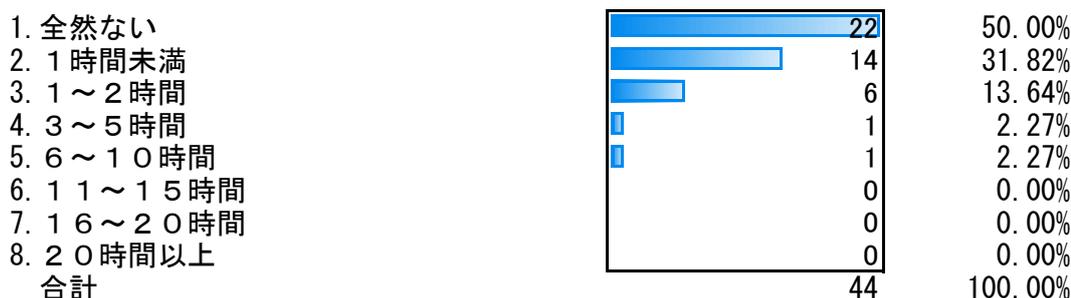
A. 授業や実験に出る



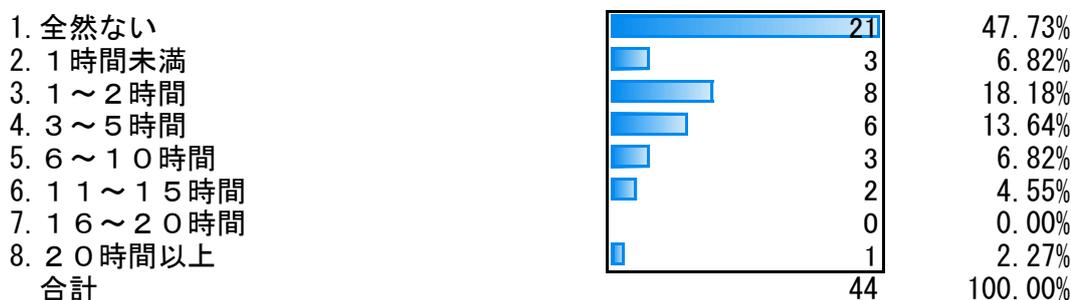
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



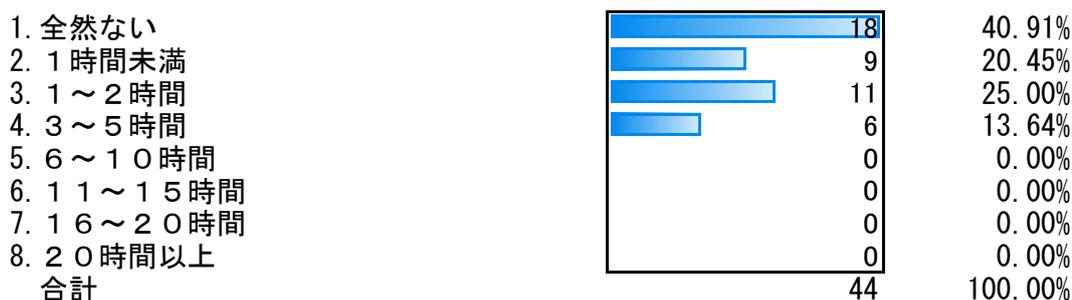
D. 部活動や同好会に参加する



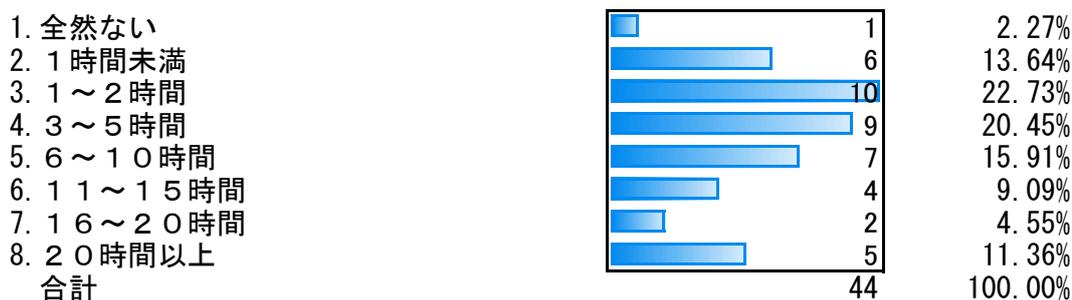
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



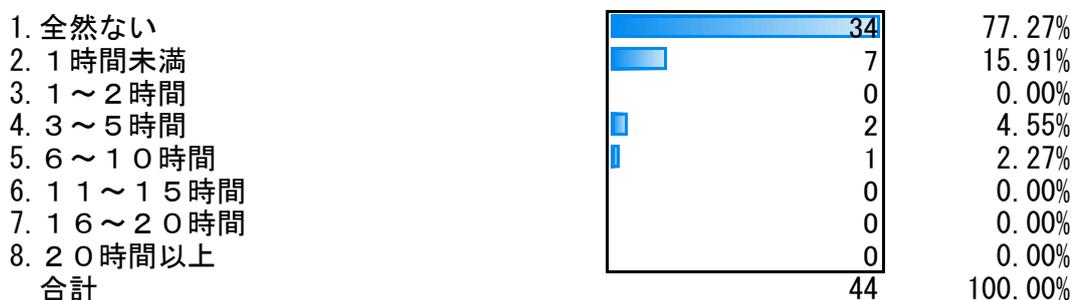
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



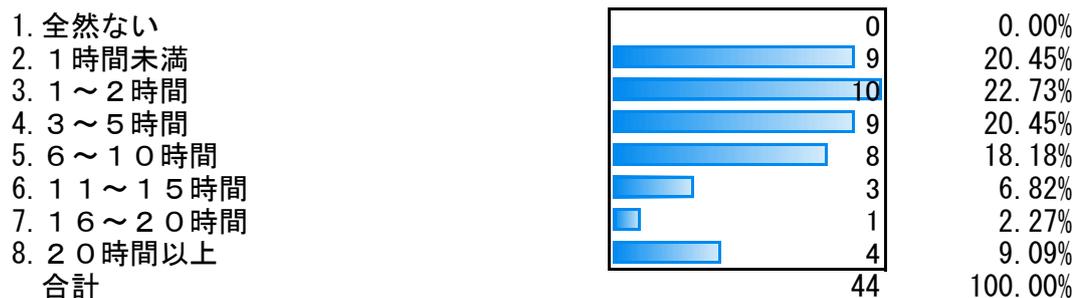
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



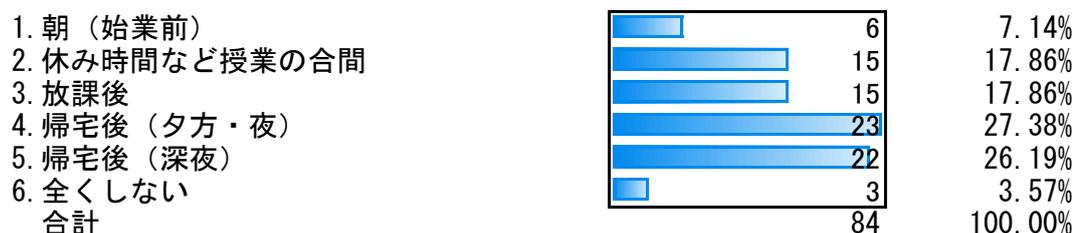
H. ボランティア活動に参加する



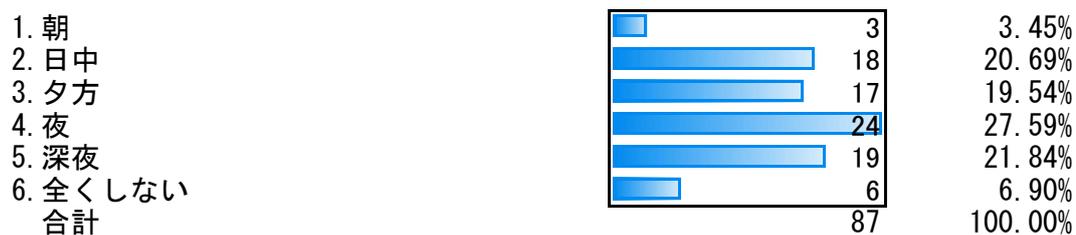
I. メール、Facebook、LINE等の利用



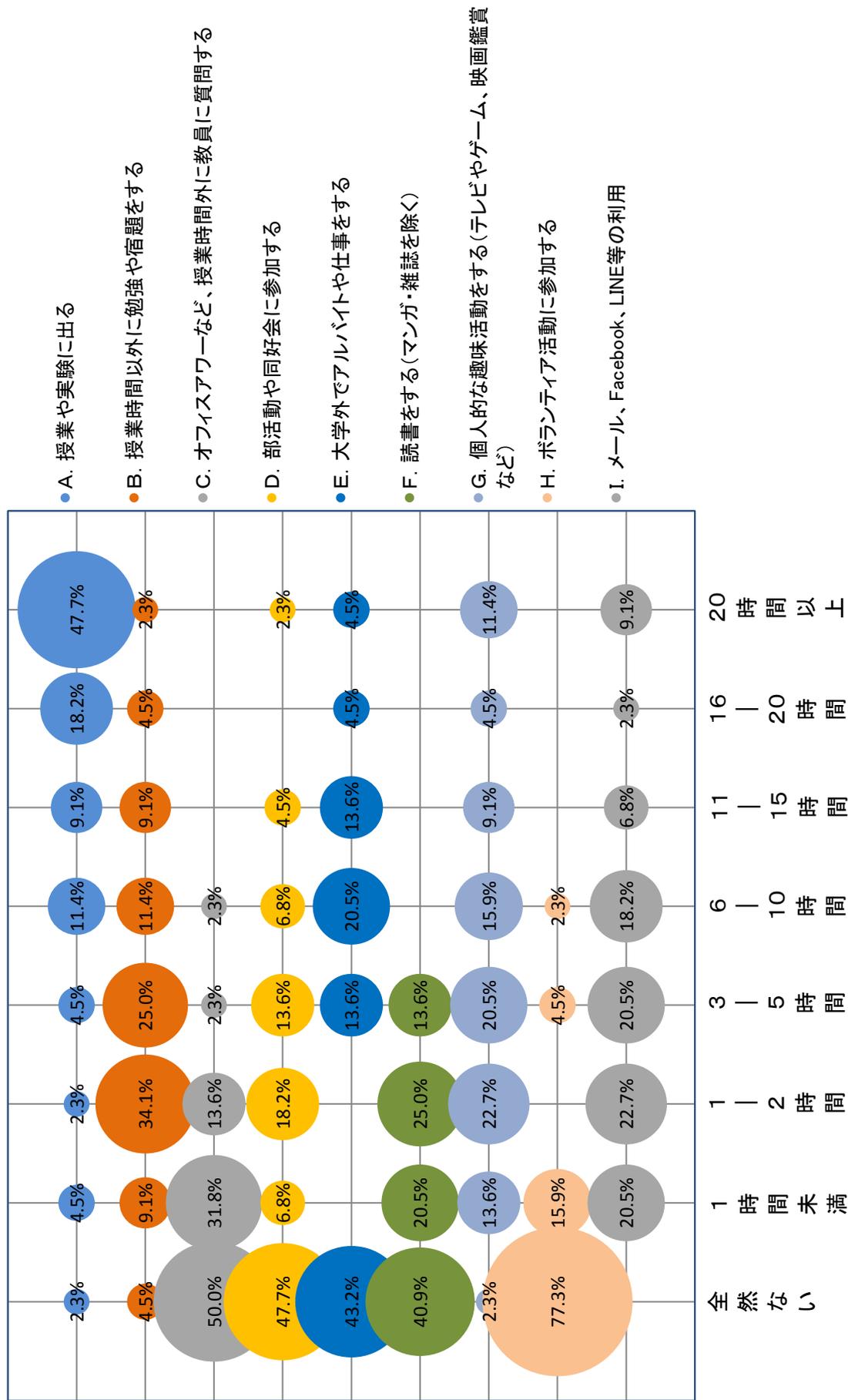
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯
（あてはまるものをすべて選んでください。）



K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯
（あてはまるものをすべて選んでください。）



H30 (3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



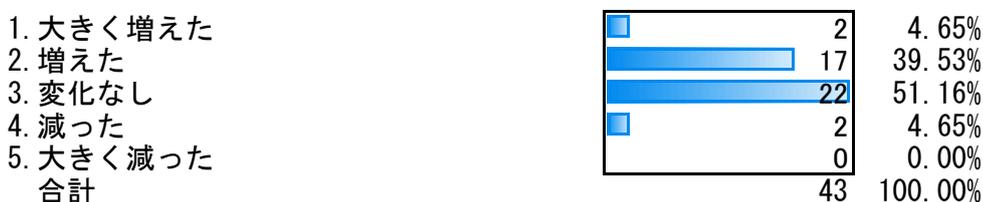
C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力

1. 大きく増えた	4	9.30%
2. 増えた	12	27.91%
3. 変化なし	26	60.47%
4. 減った	1	2.33%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	43	100.00%

G. 人間関係を構築する能力

1. 大きく増えた	5	11.63%
2. 増えた	21	48.84%
3. 変化なし	16	37.21%
4. 減った	1	2.33%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	43	100.00%

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

1. 大きく増えた	6	13.95%
2. 増えた	25	58.14%
3. 変化なし	10	23.26%
4. 減った	2	4.65%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	43	100.00%

I. 異文化の人々と協力する能力

1. 大きく増えた	4	9.30%
2. 増えた	10	23.26%
3. 変化なし	26	60.47%
4. 減った	2	4.65%
5. 大きく減った	1	2.33%
合計	43	100.00%

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	3	6.98%
2. 増えた	19	44.19%
3. 変化なし	20	46.51%
4. 減った	1	2.33%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	43	100.00%

K. 国民が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	3	6.98%
2. 増えた	11	25.58%
3. 変化なし	28	65.12%
4. 減った	1	2.33%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	43	100.00%

L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



付 録

1. 大学に入学する前や高校時代のことについて (全学部：1年生のみ)

(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。

第1志望だった	104	53%
第1志望ではなかった	93	47%
合計	197	100%

(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。

現役	180	90%
浪人	11	6%
その他(留学生、社会人など)	9	5%
合計	200	100%

(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。

上位の方	29	14%
中の上くらい	53	26%
中くらい	59	29%
中の下くらい	33	16%
下位の方	18	9%
その他(わからない、覚えていないなど)	9	4%
合計	201	100%

(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした

ひんばんにした	11	5%
ときどきした	63	31%
あまりしなかった	89	44%
まったくしなかった	38	19%
合計	201	100%

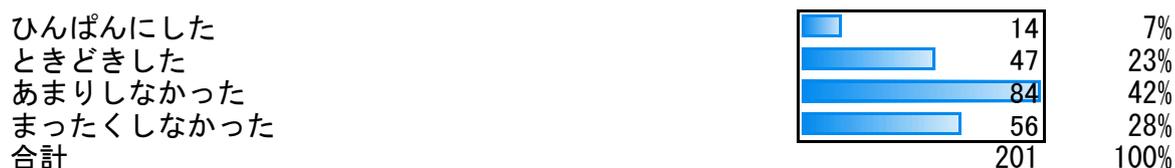
B. 自分の意見を論理的に主張した

ひんばんにした	18	9%
ときどきした	68	34%
あまりしなかった	81	40%
まったくしなかった	34	17%
合計	201	100%

C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した

ひんばんにした	20	10%
ときどきした	87	43%
あまりしなかった	72	36%
まったくしなかった	22	11%
合計	201	100%

D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた

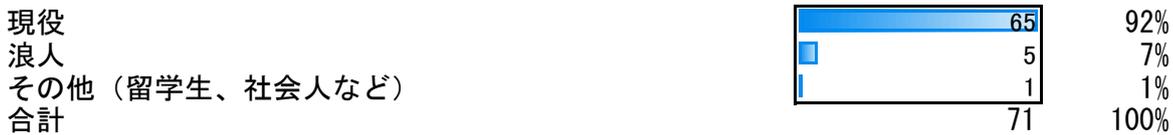


1. 大学に入学する前や高校時代のことについて (教養学部：1年生のみ)

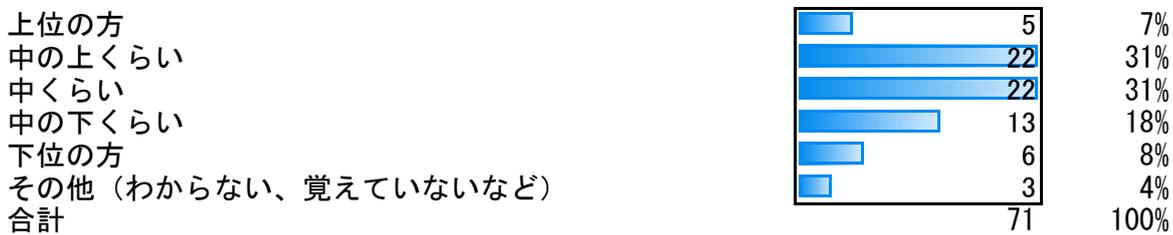
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて (薬学部：1年生のみ)

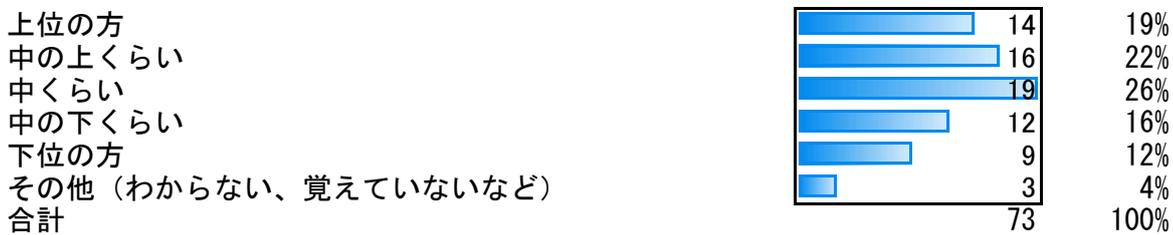
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて (看護学部：1年生のみ)

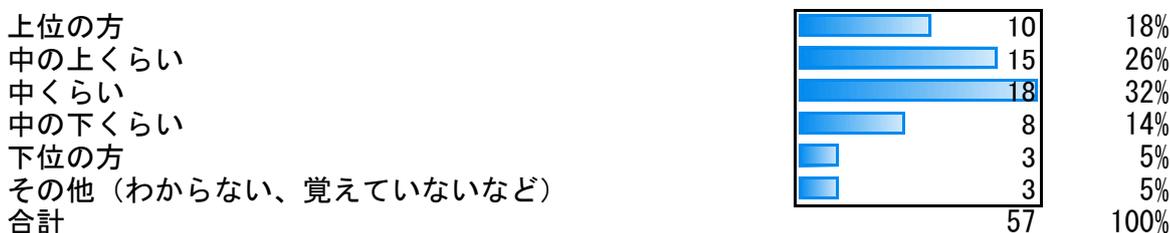
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



3. 大学の学びに関する満足度について（全学部）

(1) あなたは、本学の教育内容にどれくらい満足していますか。

A. 全学共通教育の授業



B. 初年次生を対象とした教育プログラム内容 (フレッシュヤーズセミナー1・2、イグナイト教育1A・1Bなど)



C. 授業の全体の質



D. 日常生活と授業内容との関連



E. 将来の仕事と授業内容の結びつき



F. 教員と話をする機会



G. 個別の学習指導や援助（履修相談など）



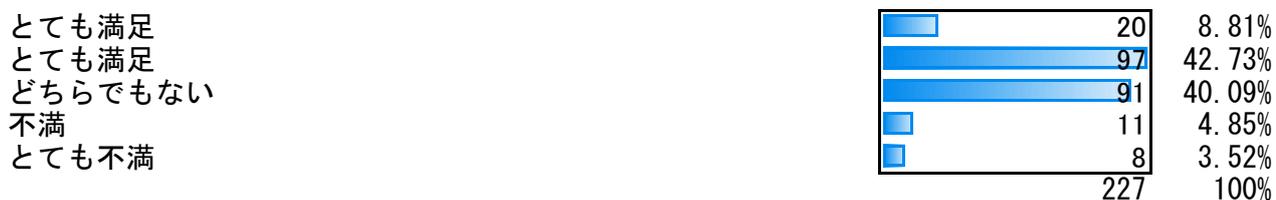
H. 他の学生と話をする機会



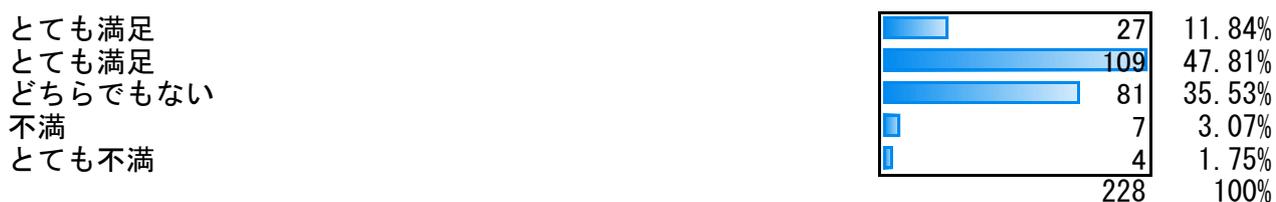
I. 大学の中での学生同士の一体感



J. 多様な考え方を認めあう雰囲気



K. 大学での経験全般について



L. 1つの授業を履修する学生数



(2) あなたは、本学の施設や学生支援制度にどの程度満足していますか。

A. 図書館・学習センター（蔵書や学習スペースなど）



B. 実験室の設備や器具



C. コンピュータの施設や設備



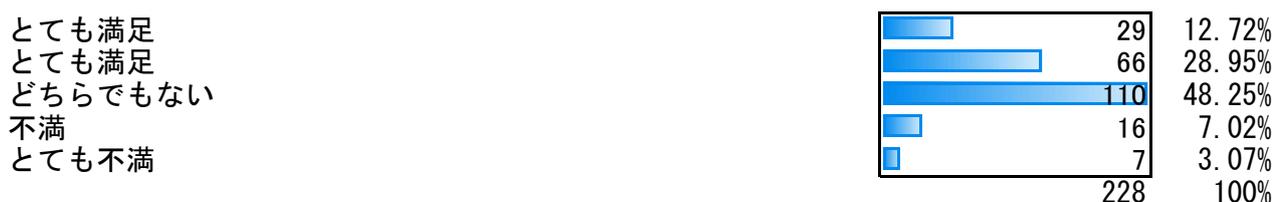
D. コンピュータの訓練や援助



E. インターネットの使いやすさ



F. 奨学金など学費援助の制度



G. 健康保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談）



H. 体育施設



I. キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）



J. 厚生館施設



4. 英語の学習状況について（全学部）

(1)あなたの英語能力をA. 聞く力、B. 読む力、C. 会話力、D. 表現力、E. 書く力の5つの観点から自己評価した場合に、到達していると思うレベルを、①入学時と②現在それぞれについて1つずつ答えてください。

A-1. 聞く力(①入学時)

1. はっきりと、ゆっくり話してもらえれば、聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	114	50.0%
2. 最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	49	21.5%
3. 身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	41	18.0%
4. テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	17	7.5%
5. 特別な努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	4	1.8%
6. 英語を母国語とする人の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難無く理解できる。	3	1.3%
合計	228	100.0%

A-2. 聞く力(②現在)

1. はっきりと、ゆっくり話してもらえれば、聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	78	34.1%
2. 最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	62	27.1%
3. 身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	54	23.6%
4. テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	21	9.2%
5. 特別な努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	13	5.7%
6. 英語を母国語とする人の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難無く理解できる。	1	0.4%
合計	229	100.0%

B-1. 読む力(①入学時)

1. 掲示やポスター、カタログなどの中によく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	55	24.0%
2. ごく短い簡単な文章や、簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	54	23.6%
3. 日常語や、自分の知っている分野の文章なら理解できる。簡単に個人的な手紙を理解できる。	74	32.3%
4. 現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	35	15.3%
5. 複雑な文章を理解できる。自分の関連外の分野の専門の記事も理解できる。	9	3.9%
6. 抽象的で複雑な文章など、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。	2	0.9%
合計	229	100.0%

B-2. 読む力(②現在)

1. 掲示やポスター、カタログなどの中によく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	38	16.6%
2. ごく短い簡単な文章や、簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	42	18.3%
3. 日常語や、自分の知っている分野の文章なら理解できる。簡単に個人的な手紙を理解できる。	96	41.9%
4. 現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	37	16.2%
5. 複雑な文章を理解できる。自分の関連外の分野の専門の記事も理解できる。	12	5.2%
6. 抽象的で複雑な文章など、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。	4	1.7%
合計	229	100.0%

C-1. 会話力(①入学時)

1. 決まった言い回しを使って自己紹介をしたり、相手の趣味を尋ねたりできる。	95	41.7%
2. 家族や身の回りのことについて、簡単な質問なら聞いたり答えたりできる。	48	21.1%
3. 短い社交的なやり取りができる。ひとりで会話を続けにくい、相手の助け舟で、身近な話題について話し続けられる。	31	13.6%
4. 準備をすれば、日常的でなじみのある話題について、簡単な言葉を使ってまとまりのある会話ができる。	23	10.1%
5. 日常生活に直接関係のあることや個人的な関心について、準備なしで会話ができる。	20	8.8%
6. 身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	3	1.3%
7. 社会上、目的・場面に合った言葉遣いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	4	1.8%
8. いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。	4	1.8%
合計	228	100.0%

C-2. 会話力(②現在)

1. 決まった言い回しを使って自己紹介をしたり、相手の趣味を尋ねたりできる。	59	25.8%
2. 家族や身の回りのことについて、簡単な質問なら聞いたり答えたりできる。	49	21.4%
3. 短い社交的なやり取りができる。ひとりで会話を続けにくい、相手の助け舟で、身近な話題について話し続けられる。	44	19.2%
4. 準備をすれば、日常的でなじみのある話題について、簡単な言葉を使ってまとまりのある会話ができる。	36	15.7%
5. 日常生活に直接関係のあることや個人的な関心について、準備なしで会話ができる。	19	8.3%
6. 身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	6	2.6%
7. 社会上、目的・場面に合った言葉遣いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	12	5.2%
8. いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。	4	1.7%
合計	229	100.0%

D-1. 表現力(①入学時)

1. 住んでいるところ、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	104	45.4%
2. 家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。	39	17.0%
3. 簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語る事ができる。	60	26.2%
4. 興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	19	8.3%
5. 複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	6	2.6%
6. 論理的な会話で聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。	1	0.4%
合計	229	100.0%

D-2. 表現力(②現在)

1. 住んでいるところ、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	78	34.2%
2. 家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。	35	15.4%
3. 簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語る事ができる。	73	32.0%
4. 興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	32	14.0%
5. 複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	8	3.5%
6. 論理的な会話で聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。	2	0.9%
合計	228	100.0%

E-1. 書く力(①入学時)

1. お祝いのメッセージなど、短い簡単な葉書を書くことができる。	83	36.2%
2. 簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	65	28.4%
3. 身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。個人的な手紙で経験や印象を書くことができる。	49	21.4%
4. 興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	20	8.7%
5. 手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	8	3.5%
6. 論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。	4	1.7%
合計	229	100.0%

E-2. 書く力(②現在)

1. お祝いのメッセージなど、短い簡単な葉書を書くことができる。	57	25.3%
2. 簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	63	28.0%
3. 身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。個人的な手紙で経験や印象を書くことができる。	64	28.4%
4. 興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	25	11.1%
5. 手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	9	4.0%
6. 論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。	7	3.1%
合計	225	100.0%

(2)あなたは英語が好きですか。

1. 好き	42	18.5%
2. どちらかといえば好き	48	21.1%
3. 好きでも嫌いでもない	62	27.3%
4. どちらかといえば嫌い	35	15.4%
5. 嫌い	40	17.6%
合計	227	100.0%

(3)あなたは英語が得意ですか。

1. とても得意	7	3.1%
2. どちらかといえば得意	38	16.6%
3. 得意でも苦手でもない	55	24.0%
4. どちらかといえば苦手	62	27.1%
5. とても苦手	67	29.3%
合計	229	100.0%

(4)アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなど英語圏への渡航経験についておうかがいします。
あてはまるものをすべて選んでください。

1. 英語圏に行ったことはない	174	74.4%
2. 英語圏に旅行したことがある	31	13.2%
3. 英語圏で1ヶ月未満のホームステイ・留学をしたことがある	22	9.4%
4. 英語圏で1ヶ月以上6ヶ月未満のホームステイ・留学をしたことがある	4	1.7%
5. 英語圏で6ヶ月以上1年未満のホームステイ・留学をしたことがある	2	0.9%
6. 英語圏で1年以上のホームステイ・留学をしたことがある	1	0.4%
7. 英語圏に住んでいたことがある	0	0.0%
合計	234	100.0%

(5)あなたが、今までに受験したことのある英語の検定試験についておうかがいします。あてはまるものをすべて選び、それぞれの試験について取得したスコアまたは級のなかで最も高いものを教えてください。

A. 受験経験

1. 今までに英語の検定試験を受けたことはない	81	33.1%
2. 実用英語技能検定(英検)	124	50.6%
3. TOEIC 公開テスト	11	4.5%
4. TOEIC IPテスト(団体特別受験)	15	6.1%
5. TOEIC Bridgeテスト	4	1.6%
6. TOEFLテスト ITP(団体受験)	3	1.2%
7. インターネット版 TOEFLテスト(TOEFL iBT)	0	0.0%
8. その他	7	2.9%
合計	245	100.0%

B. 取得したスコアまたは級のなかで最も高いもの

実用英語技能検定(英検) 級

1. 1級	0	0.0%
2. 準1級	38	37.6%
3. 2級	46	45.5%
4. 準2級	12	11.9%
5. 3級	5	5.0%
6. 4級	0	0.0%
7. 5級	0	0.0%
合計	101	100.0%

TOEIC 公開テスト 点

TOEIC IPテスト(団体特別受験) 点

TOEIC Bridgeテスト 点

TOEFLテスト ITP(団体受験) 点

インターネット版 TOEFLテスト(TOEFL iBT) 点

その他(具体的に) 点/級

